

2006 年秋季年会

年会プログラム

於 九州国際大学

2006 年 9 月 19 日 (火) ～ 9 月 21 日 (木)

日本天文学会

日本天文学会 2006 年秋季年会プログラム

期 日 2006 年 9 月 19 日 (火) ~ 9 月 21 日 (木)

場 所 九州国際大学 (福岡県北九州市八幡東区平野 1-6-1)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2006 年 9 月 18 日 (月) ~ 9 月 21 日 (木) >

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
9月18日 (月)								記者会見					
								公開講演会					
9月19日 (火)	A	P. 星・惑星			昼休み (理事会)	ポスター	P. 星・惑星			学術会議 特別セッション (A会場)			
	B	L. 太陽系					A. 補償光学						
	C	N. 恒星					N. 恒星						
	D	M. 太陽					M. 太陽						
	E	W. 飛翔観					W. 飛翔観						
	F	K. 超新星爆発					K. 超新星爆発						
	G	S. 銀河核					S. 銀河核						
	H	Y.教育・他/V.地上観					V. 地上観						
9月20日 (水)	A	P. 星・惑星			ポスター	昼休み (評議員会)	P. 星・惑星			天文教育 フォーラム (A会場)	総会 受付終了 (A会場)	懇親会	
	B	U. 宇宙論					U. 宇宙論						
	C	R. 銀河					R. 銀河						
	D	Q. 星間					Q. 星間						
	E	W. 飛翔観					W. 飛翔観						
	F	J. 高密度星					J. 高密度星						
	G	S. 銀河核					X. 銀河形成						
	H	V. 地上観					V. 地上観						
9月21日 (木)	A	P. 星・惑星			ポスター	昼休み	P. 星・惑星						
	B	T. 銀河団					T. 銀河団						
	C	R. 銀河					R. 銀河						
	D	Q. 星間					Q. 星間						
	E	W. 飛翔観					W. 飛翔観						
	F	J. 高密度星					J. 高密度星						
	G	X. 銀河形成					X. 銀河形成						
	H	V. 地上観					V. 地上観						
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	

A 会場 : KIU ホール
 B 会場 : 2号館 1F (2102 教室)
 C 会場 : 2号館 2F (2201 教室)
 D 会場 : 2号館 2F (2202 教室)
 E 会場 : 2号館 2F (2204 教室)
 F 会場 : 2号館 3F (2301 教室)
 G 会場 : 2号館 3F (2302 教室)
 H 会場 : 2号館 3F (2304 教室)
 受付 : 2号館 1F ロビー
 会議室 : 2号館 1F (大学院 4)

ポスター会場 1 : 3号館 3F
 ポスター会場 2 : 3号館 3F
 ポスター会場 3 : 3号館 3F
 ポスター会場 4 : 3号館 3F
 ポスター会場 5 : 3号館 4F
 ポスター会場 6 : 3号館 4F
 展示コーナー : 2号館 2F ロビー
 懇親会会場 : 千草ホテル

◎講演数

講演数：合計 642

(口頭講演 (a)：405、ポスター講演 (b)：204、ポスター講演 (c)：33)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をして下さい。)

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	1,000 円 (消費税込み)	1,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (2号館 1F ロビー)

○参加登録受付時間：9：00～16：00

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※領収書が必要な方は、参加費用支払い時にお申し出下さい。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費を支払う必要があります。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は8会場で行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180×横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、9 月 19 日の 9：30 から 9 月 21 日の 13：30 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP または液晶プロジェクターをご使用下さい。液晶プロジェクターの使用に際しては、セッション開始迄に接続を確認し、念のため OHP での発表もできるようにしておいてください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、液晶プロジェクターを使用される方は、事前に PC をケーブルにつないでおいてください。

◎会期中の行事

1. 記者会見：18日(月) 13:30～14:30 北九州市立児童文化科学館
年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. 公開講演会：18日(月) 14:00～17:00 北九州市立児童文化科学館
3. 理事会：19日(火) 12:00～13:00 会議室
4. 学術会議特別セッション：19日(火) 17:00～19:00 A会場
5. 評議員会：20日(水) 12:30～13:30 会議室
6. 天文教育フォーラム：20日(水) 15:30～16:30 A会場
7. 総会：20日(水) 16:30～18:00 A会場
(16:30～17:00 総会出席者確認、17:00 総会開始)
 - 新役員(理事・監事)の選任
 - 選挙管理委員の承認
 - 2007年度事業計画書
 - 2007年度収支予算書
8. 懇親会：20日(水) 18:30～ 千草ホテル

◎天文教育フォーラム

共催：天文教育普及研究会

テーマ：「天文学系の学部を志望する大学入学者の現状」

日時：2006年9月20日(水) 15:30～16:30

場所：A会場

概要：現在の高等学校までの初等中等教育の理科教育では、内容のスリム化及び、選択と総合化(統合化)がすすんで、大学入学時点での学生の理科や数学の基礎知識には、かなりの欠落又は、アンバランスがあり、理科教育の危機を通り越し、学力低下の傾向の存在までが指摘されるに至っています。その影響は、学部一般教養教育のみならず、理系学部における専門教育でさえも影響が出ているとささやかれています。また、今年度は、いわゆるゆとり教育世代の学生が本格的に大学に入ってきた、いわば節目に当たる年であり、さらに状況が進むことも懸念されます。

今回のフォーラムでは、噂話としては、今まで各方面で話題にあがっているが、具体的な事例としてなかなか俎上にあがることのなかったこの話題を取り上げて、現状をできるだけ正確に把握することを目指します。また、立場を明確にするために大学教育としては、主に天文学関連の研究者・専門家(理科の教員も含む)を養成する立場に絞って議論する方針です。

ここ数年の学生の変化と現状・問題点について、2つの典型的な大学に籍を置く方に講演していただき、できるだけ正確な現状認識を得たいと思います。

- 講演1：「東大の理系学部の学生のここ数年の変化について」
江里口良治(東大大学院総合文化研究科) (20分)
- 講演2：「教員養成系大学の理系志望学生の経年変化と現状について—大教大の場合—」
福江 純(大阪教育大教育) (20分)
- 討論：(15分)
- 司会：杉山 直(名古屋大学)
- 実行委員：山縣朋彦(文教大学)、松下恭子(東京理科大学)、
沢 武文(愛知教育大学)、仲野 誠(大分大学)

◎日本学術会議特別セッション

主 催： 日本天文学会、
日本学術会議学術会議物理学委員会天文宇宙物理分科会

テ ー マ： 「日本学術会議とこれからの科学者・科学政策」

日 時： 2006年9月19日（火）17：00～19：00

場 所： A会場

開催の主旨： 日本の科学、特に基礎的な科学・学術が、国立大学の法人化をはじめとする行政改革と財政
圧迫の流れの中で大きな危機に瀕しているというのは、いまや関係者の共通認識である。それ
とともに、科学者一人一人の自覚と社会責任とが問われている。昨年、かつて「学者の国会」
として華々しく活躍した日本学術会議が、社会における科学の役割を果たし得る科学者アカデ
ミーの構築をめざし、その存続をかけて再出発したのも、もちろんこうした状況と無縁ではない。

日本学術会議は、新しい日本学術会議法のもと、210名の会員によって昨年10月にスタート
した。その後人文科学、生命科学、理学・工学の3つの部のもとで30の分野委員会およびその
分科会、また10あまりの課題別委員会を立ち上げて、活動を再開している。平行して、約2,000
名の連携会員を選出する作業が進んでいる。連携会員は会員とともに日本の科学のアカデミー
たる学術会議を構成し、委員会や分科会で活動するとともに、新たな会員や連携会員の推薦す
る役割を担う。この10月の総会で、新たな態勢がほぼ完成する予定である。新たな学術会議は、
日本社会と世界に対して日本の科学者が真に有効なプレゼンスと役割とを果たすことを目指し
ており、学協会との新たな協力関係が重要である。そうした動きの概要については、今年4月
号の『科学』397ページに海部による紹介記事があるので、参照されたい。なお物理学委員会では、
特に科学の普及と教育に力を入れることを検討している。

天文学分野では、従来の天文学研究連絡委員会（旧四部所属）に替わり、第三部の物理学委
員会の下に「天文学・宇宙物理学分科会」が発足し、当面のIAU総会対応の検討をおこなった。
まだ会員2名、連携会員4名の仮の姿だが、9月には新たな連携会員が10名近く加わり、将来
計画なども含めた本格的な活動を始める。

変動する日本社会の中で、日本学術会議はどのような方向に向けて動いていくべきか。果た
すべき役割はなにか。学協会など研究者コミュニティと学術会議の協力はいかにあるべきか。
日本の科学と科学者は、どのようにあるべきか、日本の科学政策の現状と方向は、などについ
て報告し討議し、広く意見を交わしたい。

特に若手研究者を含め、多数の参加を期待します。

世 話 役： 海部宣男（窓口）、佐藤勝彦、岡村定矩、池内 了、井上 一

◎日本天文学会公開講演会

後 援： 福岡県教育委員会、北九州市教育委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、
読売新聞西部本社、西日本新聞社、NHK北九州放送局、九州朝日放送、
RKB毎日放送、テレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送

テ ー マ： 「惑星のおいたち ―我々の太陽系と他の惑星系―」

日 時： 2006年9月18日（月）14：00～17：00（開場13：30）

場 所： 北九州市立児童文化科学館

対 象： 中学生以上・一般向け

趣 旨： 最近の惑星探査機の成果を中心に、どんなことが分かってきたのか、それはどういう意味を持っ
ているのかを解説していただきます。また近年多く見つかりつつある他の恒星の周りの惑星に
ついて、我々の太陽系の様子とどのように違うのか、その違いはなぜおこったのかを説明して
いただきます。

講 演 I： 「太陽系の果てを探る ―第十惑星はあるのか?―」

講 演 者： 渡部潤一（国立天文台助教授）

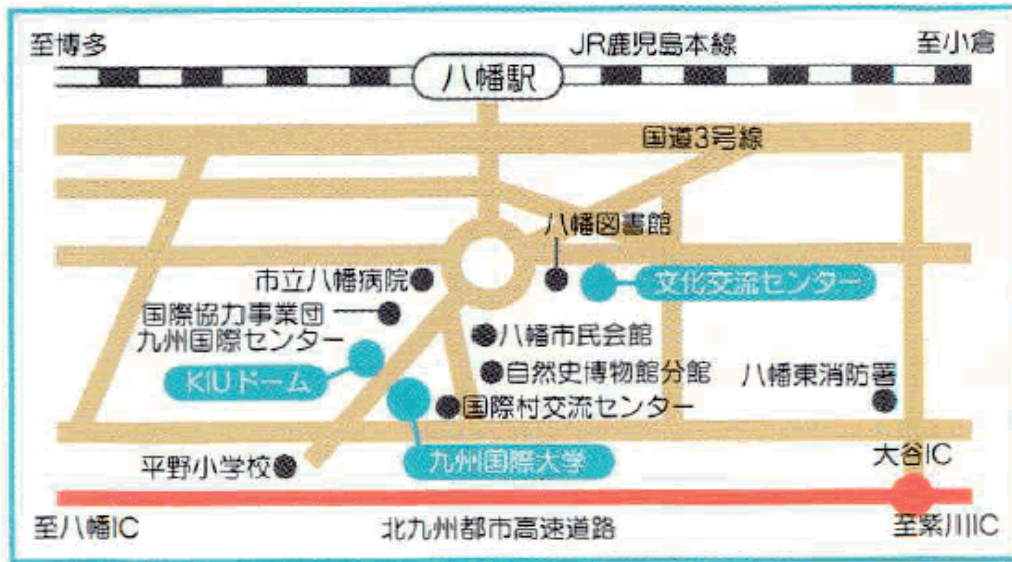
講 演 II： 「太陽系の外に惑星を探す ―第2の地球は見つかるか?―」

講 演 者： 田村元秀（国立天文台助教授）

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。先着順に整理券をお渡します。

秋季年会会場（九州国際大学）のご案内

会場までのアクセス



八幡駅から九州国際大学まで

◎駅前をまっすぐ山のほうに向かってお進み下さい。徒歩 15 分程です。駅前にはタクシーもごさいます。なおバスは路線がはずれています。

八幡駅までの交通のご案内

◎本州方面から JR 新幹線をご利用の場合：小倉駅から鹿児島本線下り（博多方面）に乗車下さい。快速電車で 3～4 駅（13 分）、普通電車で 6 駅（15 分程）です。なお特急電車は停車しません。

◎九州方面から：博多駅から鹿児島本線上り（小倉方面）にご乗車下さい。快速電車で 11 駅（1 時間弱）、普通電車で 20 駅（1 時間 20 分程）です。

特急電車（大分行きソニックなど）で黒崎駅まで来られて、快速電車や普通電車に乗り換えれば、次の駅です。

◎福岡空港ご利用の場合：福岡市営地下鉄で博多駅まで（2 駅、250 円）おいで下さい。

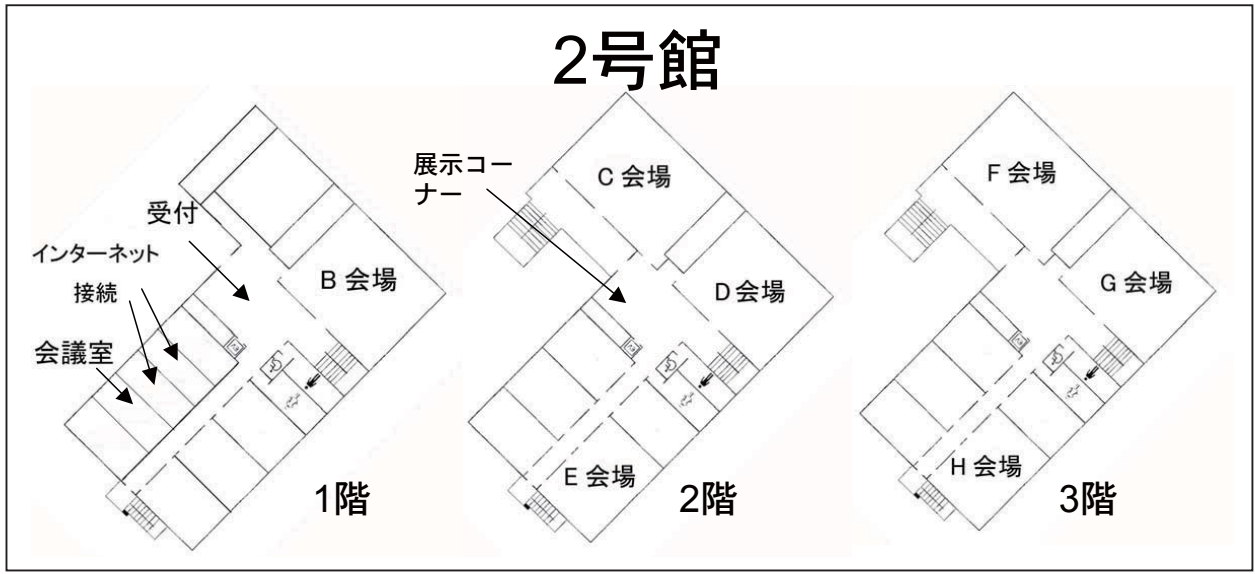
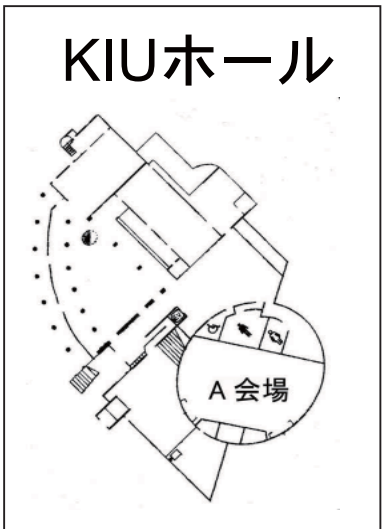
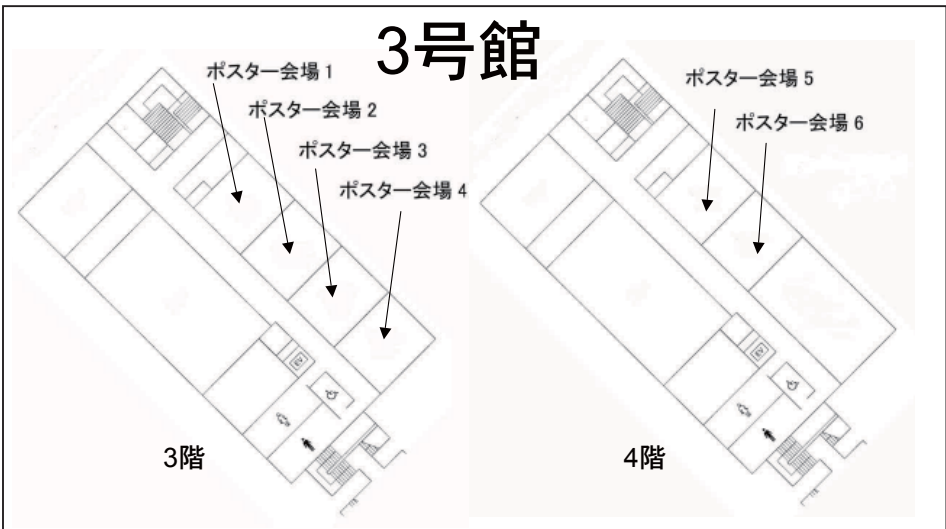
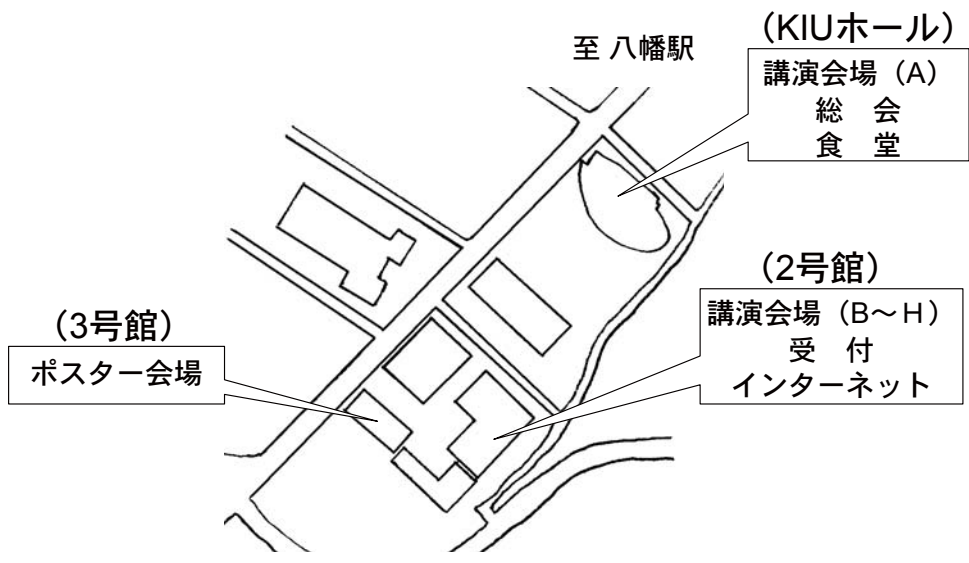
博多駅から鹿児島本線上り（小倉方面）にご乗車下さい。快速電車で 11 駅（1 時間弱）、普通電車で 20 駅（1 時間 20 分程）です。特急電車（大分行きソニックなど）で黒崎駅まで来られて、快速電車や普通電車に乗り換えれば、次の駅です。

◎北九州空港ご利用の場合：小倉・戸畑行きの連絡バスをご利用下さい。

小倉駅まで 41 分（600 円）です。小倉駅から鹿児島本線下り（博多方面）に乗車下さい。

快速電車で 3～4 駅（13 分）、普通電車で 6 駅（15 分程）です。なお特急電車は停車しません。

年会会場案内図 (九州国際大学)



□頭セッション 9月19日(火)

開始時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	
	【星・惑星】	【太陽系】	【恒星】	【太陽】	【飛翔観】	【超新星爆発】	【銀河核】	【教育/地上観】	
10:00	P01b - P03b	L01a	N01a	M01a	W01a	K01a	S01a	Y01b,Y02b	
10:12	P04b - P06b	L02a	N02a	M02a	W02a	K02a	S02a	Y05a	
10:24	P07a	L03a	N03a	M03a	W03b-W05b	K03a	S03a	Y06a	
10:36	P08a	L04a	N04a	M04a	W06b-W08b	K04a	S04a	Y07a	
10:48	P09a	L05a	N05a	M05a	W09a	K05a	S05a	Y08a	
11:00	P10a	L06a	N06b - N08b	M06a	W10b-W12b	K06a	S06a	Y09b - Y11b	
11:12	P11a	L07a	N09b,N11b, N12b	M07a	W13a	K07a	S07a	Y12b,Y13b	
11:24	P12a	L08a	N13b - N15b	M08a	W14b-W16b	K08a	S08b - S10b	V01b - V03b	
11:36	P14b - P16b	L09a	N17b - N19b	M09a	W17a	K09a	S11a	V04b - V06b	
11:48	P17b - P19b	L10b - L12b	N20b,N21b	M10b-M12b	W18a	K10b,K11b	S12b - S14b	V07b - V09b	
12:00	-	L13b,L14b	-	-	-	-	-	-	
12:12	-	L17a	-	-	-	-	-	-	
12:24	-	L18b,L19b	-	-	-	-	-	-	
12:00	昼休み								
13:00	ポスター								
	【星・惑星】	【補償光学】	【恒星】	【太陽】	【飛翔観】	【超新星爆発】	【銀河核】	【地上観】	
14:00	P20a	A01a }	N23a	M16a	W19a	K12a	S15a	V10a	
14:12	P21a		N24a	M17a	W20a	K13a	S16a	V11a	
14:24	P22a		N25a	M18a	W21a	K14a	S17a	V12a	
14:36	P23a		N26a	M19a	W22a	K15a	S18a	V13a	
14:48	P24a		N27a	M20a	W23a	K16a	S19a	V14a	
15:00	P25a		N28a	M21a	W24a	K17a	S20a	V15a	
15:12	P26a		N29a	M22a	W26a	K18a	S21a	V16a	
15:24	P27a		A14a	N30a	M23a	W27b-W29b	K19a	S22a	V17a
15:36	P28a			N31a	M24a	W30b-W32b	K20a	S23a	V18b - V20b
15:48	P29a			N32a	M25a	W33a	-	S24a	V21b - V23b
16:00	P30b - P32b	N33a		M26a	W34a	-	S25b	V25a	
16:12	P33b - P35b	N34a	M27a	W35a	-	-	V27b - V29b		
16:24	-	-	M28a	W36a	-	-	V30b - V32b		
	-	-	-	-	-	-	-	-	
17:00	学術会議特別セッション (A会場)								

□頭セッション 9月20日(水)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
	【星・惑星】	【宇宙論】	【銀河】	【星間】	【飛翔観】	【高密度星】	【銀河核】	【地上観】
09:30	P36a	U01a	R01a	Q01a	W38a	J01a	S26a	V33a
09:42	P37a	U02a	R02a	Q02a	W40b-W42b	J02a	S27a	V34a
09:54	P38b - P40b	U03b - U05b	R03a	Q03a	W43b-W45b	J03b - J05b	S28a	V35a
10:06	P41a	U06a	R04a	Q04a	W46b-W48b	J06b - J08b	S29a	V36a
10:18	P42a	U07a	R05a	Q07a	W49a	J10a	S30a	V37b - V39b
10:30	P43a	U08a	R06b - R08b	Q08a	W50a	J11a	S31a	V40a
10:42	P44a	U09a	R09a	Q09a	W51a	J12a	S32a	V41a
10:54	P45b,P46b, P48b	U10a	R10a	Q10a	W52a	J13a	S33b - S35b	V42a
11:06	P49b,P50b	U11a	R11a	Q11a	W53b-W55b	J14a	S36b	V43a
11:18	-	U12a	R12b - R14b	Q12a	W56a	J16b - J18b	-	V44b - V46b
11:30	-	-	-	-	W57a	J19b - J21b	-	V47a
11:42	-	-	-	-	W58b,W59b	J22b,J23b	-	-
11:30	ポスター							
12:30	昼休み							
	【星・惑星】	【宇宙論】	【銀河】	【星間】	【飛翔観】	【高密度星】	【銀河形成】	【地上観】
13:30	P51a	U14b - U16b	R15a	Q13a	W60a	J24a	X01a	V48a
13:42	P52a	U17a	R16a	Q14a	W61a	J25a	X02a	V49a
13:54	P53a	U18a	R17a	Q15a	W62a	J26a	X03b - X05b	V50a
14:06	P54a	U19a	R18a	Q16a	W63a	J27a	X06a	V51b - V53b
14:18	P55a	U20a	R19a	Q17a	W64a	J28a	X07a	V56a
14:30	P56a	U21a	R20b,R21b, R23b	Q18a	W65a	J29a	X08a	V57a
14:42	P57a	U22b - U24b	R24a	Q19b - Q21b	W66a	J30a	X09a	V58b - V60b
14:54	P58a	U25b,U27b	R25a	Q22b - Q24b	W67a	J31a	X10a	V61b - V63b
15:06	-	U28a	R26a	Q25b	W68a	J32a	X11a	V64a
15:18	-	-	R27a	-	-	J33b - J35b	X12a	-
15:30	天文教育フォーラム (A 会場)							
16:30	総会 (A 会場)							
18:30	懇親会							

□頭セッション 9月21日(木)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
	【星・惑星】	【銀河団】	【銀河】	【星間】	【飛翔観】	【高密度星】	【銀河形成】	【地上観】
09:30	P59a	T01a	R28a	Q27a	W69a	J37a	X13a	V66a
09:42	P60a	T02a	R29a	Q28a	W70a	J38a	X14a	V67a
09:54	P61a	T03a	R30a	Q29a	W71a	J39a	X15a	V68a
10:06	P62a	T04a	R31a	Q30a	W72a	J40a	X16a	V69a
10:18	P63a	T05a	R32a	Q31a	W73a	J41a	X17a	V70a
10:30	P64a	T06a	R33a	Q32a	W74a	J42a	X18a	V71b - V73b
10:42	P65a	T07a	R34a	Q33a	W75a	J43a	X19a	V74a
10:54	P66a	T08a	R35b - R37b	Q34a	W76a	J44a	X20a	V75a
11:06	P67a	T09a	R41a	Q35a	-	J45a	X21b - X23b	-
11:18	P68a	T10b	R42b - R44b	Q36a	-	J46b - J48b	X24a	-
11:30	-	-	-	-	-	J49b - J51b	-	-
11:30	ポスター							
12:30	昼休み							
	【星・惑星】	【銀河団】	【銀河】	【星間】	【飛翔観】	【高密度星】	【銀河形成】	【地上観】
13:30	P69a	T11a	R45a	Q37a	W77a	J52a	X25a	V76a
13:42	P70a	T12a	R46a	Q38a	W78a	J53a	X26a	V77a
13:54	P71a	T13a	R47a	Q39a	W79a	J54a	X27a	V78a
14:06	P72a	T14a	R48a	Q40a	W80a	J55a	X28a	V79a
14:18	P73a	-	R49a	Q41a	W81a	J56a	X29a	V80a
14:30	P74a	-	R50a	Q42a	W82a	J57a	X30a	V81a
14:42	P75a	-	R51a	Q43a	W83a	J58a	X31a	V82a
14:54	-	-	R52a	Q44a	W84a	J59a	X32a	V83a
15:06	-	-	R53a	-	W85a	J60a	-	V84a
15:18	-	-	R54a	-	-	J61a	-	-

ポスターセッション 9月19日(火) ~ 9月21日(木)

<p>《ポスター会場 1》</p> <p>【高密度星】(26)</p> <p>J03b J04b J05b J06b J07b J08b J09c J15c J16b J17b J18b J19b J20b J21b J22b J23b J33b J34b J35b J36c J46b J47b J48b J49b J50b J51b</p> <p>【恒星】(17)</p> <p>N06b N07b N08b N09b N10c N11b N12b N13b N14b N15b N16c N17b N18b N19b N20b N21b N22c</p> <p>《ポスター会場 2》</p> <p>【星・惑星形成】(28)</p> <p>P01b P02b P03b P04b P05b P06b P13c P14b P15b P16b P17b P18b P19b P30b P31b P32b P33b P34b P35b P38b P39b P40b P45b P46b P47c P48b P49b P50b</p> <p>【星間現象】(10)</p> <p>Q05c Q06c Q19b Q20b Q21b Q22b Q23b Q24b Q25b Q26c</p> <p>《ポスター会場 3》</p> <p>【銀河】(19)</p> <p>R06b R07b R08b R12b R13b R14b R20b R21b R22c R23b R35b R36b R37b R38c R39c R40c R42b R43b R44b</p> <p>【活動銀河核】(11)</p> <p>S08b S09b S10b S12b S13b S14b S25b S33b S34b S35b S36b</p> <p>【銀河団】(1)</p> <p>T10b</p> <p>【宇宙論】(13)</p> <p>U03b U04b U05b U13c U14b U15b U16b U22b U23b U24b U25b U26c U27b</p>	<p>《ポスター会場 4》</p> <p>【超新星爆発】(2)</p> <p>K10b K11b</p> <p>【太陽系】(9)</p> <p>L10b L11b L12b L13b L14b L15c L16c L18b L19b</p> <p>【銀河形成】(6)</p> <p>X03b X04b X05b X21b X22b X23b</p> <p>【天文教育・他】(9)</p> <p>Y01b Y02b Y03c Y04c Y09b Y10b Y11b Y12b Y13b</p> <p>【ジュニアセッション】</p> <p>【PDL】</p> <p>【最新情報コーナー】</p> <p>《ポスター会場 5》</p> <p>【地上観測機器】(44)</p> <p>V01b V02b V03b V04b V05b V06b V07b V08b V09b V18b V19b V20b V21b V22b V23b V24c V26c V27b V28b V29b V30b V31b V32b V37b V38b V39b V44b V45b V46b V51b V52b V53b V54c V55c V58b V59b V60b V61b V62b V63b V65c V71b V72b V73b</p> <p>《ポスター会場 6》</p> <p>【補償光学】(1)</p> <p>A15c</p> <p>【太陽】(6)</p> <p>M10b M11b M12b M13c M14c M15c</p> <p>【飛翔体観測機器】(35)</p> <p>W03b W04b W05b W06b W07b W08b W10b W11b W12b W14b W15b W16b W25c W27b W28b W29b W30b W31b W32b W37c W39c W40b W41b W42b W43b W44b W45b W46b W47b W48b W53b W54b W55b W58b W59b</p>
---	--

A. 補償光学の新展開

9月19日(火) 午後・B会場		
14:00	A01a 補償光学系の原理、次世代補償光学系 高見英樹 (国立天文台)	16:24 A13a 低次赤外線波面センサーと LGS – 特長 / 開発状況 / サイエンス 後藤美和 (MPIA)
14:20	A02r 眼科医療と補償光学 魚里 博 (北里大学)	16:32 A14a 可視 AO がもたらす進展：星生成および惑星系形成 高見道弘 (国立天文台)
14:40	A03a 飛騨天文台における太陽補償光学装置の開発 三浦則明 (北見工業大学)	A15c メーザーガイド星 伊藤洋一 (神戸大学)
14:48	A04a X線望遠鏡への補償光学の応用 北本俊二 (立教大学)	16:40 議 論
14:56	A05a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト：開発状況 早野 裕 (国立天文台)	
15:16	A06a すばるレーザーガイド補償光学系で拓くサイエンス 美濃和陽典 (国立天文台)	
15:36	A07a 補償光学への期待 – 超新星による宇宙膨張測定 – 土居 守 (東京大学)	
15:44	A08a すばる次世代高ストレル比 AO による、近傍 QSO 母銀河の研究 今西昌俊 (国立天文台)	
15:52	A09a すばる望遠鏡における可視補償光学「面分光」計画 菅井 肇 (京都大学)	
16:00	A10a AO188 と新高コントラスト装置 HiCAIO による系外惑星と円盤の観測 ABE, Lyu (国立天文台)	
16:08	A11r 188 素子 AO と IRCS を用いた共生星の近赤外 2 次元 (偏光) 分光観測 池田優二 (フォトコーディング)	
16:16	A12a すばる LGSAO188 を用いた近赤外線における星形成領域の研究の進展について Pyo, Tae-Soo (国立天文台)	

J. 高密度星

9月20日(水) 午前・F会場	
09:30	J01a 古典新星の普遍的減光則の発見 蜂巢 泉 (東京大学)
09:42	J02a 今期バースト中に見られる RS Oph のスペクトル変化 内藤博之 (西はりま天文台)
09:54	J03b 短周期 SU UMa 型矮新星 V844 Her の superoutburst 大泉尚太 (鹿児島大学)
09:54	J04b 矮新星 ASAS023322-1047.0 の スーパーアウトバーストの測光観測 前原裕之 (東京大学)
09:54	J05b 矮新星 ASAS102522-1542.4 の スーパーアウトバーストの測光観測 前原裕之 (東京大学)
10:06	J06b SU UMa 型矮新星 V585Lyr、 NSV907 の可視測光観測 杉保 圭 (京都大学)
10:06	J07b 南天の SU UMa 型矮新星の発見と 観測 (1) : FL TrA と CTCV J0549 —4921 今田 明 (京都大学)
10:06	J08b 南天の SU UMa 型矮新星の発見 と観測 (2) : ASAS 160048— 4846.2 今田 明 (京都大学)
	J09c 南天の SU UMa 型矮新星の発見 と観測 (3) : 2QZ J021927.9— 304545 今田 明 (京都大学)
10:18	J10a 「すざく」による矮新星 SS Cyg の 観測 石田 学 (首都大学東京)
10:30	J11a 原始中性子星の非球対称崩壊 安武伸俊 (九州大学)
10:42	J12a 磁場を伴った差動回転星の平衡形状 吉田至順 (早稲田大学)
10:54	J13a 強い双極磁場を持つ中性子星の振動 李 うみん (東北大学)
11:06	J14a Crab パルサーにおける高エネル ギー放射の偏光に関する理論的研究 高田順平 (ASIAA/NTHU-TIARA, TAIWAN)
	J15c Exotic Cooling 過程が X 線バース トに及ぼす影響 野田常雄 (九州大学)
11:18	J16b カニ星雲の近赤外線と X 線のスペク トル解析 山本幹生 (宮崎大学)
11:18	J17b 「すざく」を中心とした 2006 年 4 月の SS433 多波長同時観測 : 1 久保田香織 (京都大学)
11:18	J18b すざく衛星による低質量 X 線連星 GX 17+2 の観測 須藤敬輔 (立教大学)
11:30	J19b 「すざく」による NGC1313 中の大 高度 X 線源の観測 水野恒史 (広島大学)
11:30	J20b 従来のモデルにおける恒星質量ブ ラックホールと ULX の検証 吉田鉄生 (東京理科大学)
11:30	J21b すざく衛星による銀河面領域観測時 に発見されたトランジェント天体 山内茂雄 (岩手大学)
11:42	J22b ~ 1 Jy 電波バーストの検出 国吉雅也 (早稲田大学)
11:42	J23b 2006 年 5 月に発見されたトラン ジェント電波源 WJN J1843+39 田中 泰 (早稲田大学)

9月20日(水) 午後・F会場		9月21日(木) 午前・F会場	
13:30	J24a 電子サイクロトロン共鳴線高調波の X 線光度に依存した変動 中島基樹 (日本大学)	15:18	J35b Collapsar model の MHD シミュレーション 小野勝臣 (九州大学)
13:42	J25a 「すざく」によるブラックホール天体 4U1630-472 High State の X 線連続成分の時間変動 保田知則 (広島大学)		J36c 降着円盤蒸発に関する 2次元磁気流体数値実験 中村賢仁 (松江工業高等専門学校)
13:54	J26a 「すざく」による 4U 1630-47 の硬 X 線放射 山田真也 (東京大学)	09:30	J37a Eclipsing Light-Curves for Rotating Black Holes and Atmospheric Effects of Companion Stars 高橋労太 (東京大学)
14:06	J27a 「すざく」による 4U 1630-472 の共鳴吸収線の発見と長期時間発展 久保田あや (理化学研究所)	09:42	J38a ペアー kHz QPOs の時間変動は warp 共鳴振動モデルで説明できるか 加藤正二 (奈良産業大学)
14:18	J28a 「すざく」が NGC 4945 銀河中に見付けたブラックホール候補天体 磯部直樹 (理化学研究所)	09:54	J39a 方位角方向磁場を含めた光学的に厚いブラックホール降着円盤の定常解 小田 寛 (千葉大学)
14:30	J29a NGC1313 内の超光度 X 線源の解析 宮本将雄 (東京理科大学)	10:06	J40a 相対論的磁気リコネクションにおけるエネルギー開放メカニズム 渡邊直之 (東京大学)
14:42	J30a 銀河系中心ブラックホール SgrA* の降着円盤の振動模様 三好 真 (国立天文台)	10:18	J41a エルゴ領域に架かる磁氣的橋によるジェット形成と状態方程式 小出真路 (熊本大学)
14:54	J31a Investigation on the XMM-Newton EPIC Spectra of Six ULXs in Quest of Slim Disk Signatures Vierdayanti, Kiki (京都大学)	10:30	J42a “Black Hole Aurora” powered by Rotating Black Hole 高橋真聡 (愛知教育大学)
15:06	J32a Spectral properties of super-critical accretion flow 嶺重 慎 (京都大学)	10:42	J43a カー時空におけるブレーザーの MHD モデルによる σ 問題へのアプローチ 馬見塚 裕 (京都大学)
15:18	J33b 光学的に薄い降着円盤の新しい解析解 渡會兼也 (大阪教育大学)	10:54	J44a 重力場を含めた変動エディントン因子による相対論的球対称輻射輸送流 秋月千鶴 (大阪教育大学)
15:18	J34b 分子流体力学法による近接連星系降着円盤における渦状衝撃波の数値シミュレーション 村田浩也 (神戸大学)		

		9月21日(木) 午後・F会場
11:06	J45a 速度依存変動エディントン因子を用いた相対論的鉛直輻射流 福江 純 (大阪教育大学)	13:30 J52a ニュートリノ冷却優勢降着円盤の構造とガンマ線バーストへの応用 川中宣太 (京都大学)
11:18	J46b 相対論的球対称風の光球の温度分布と見え方 住友那緒子 (大阪教育大学)	13:42 J53a 相対論的磁気アーケード膨張とプラズモイド噴出の数値実験 浅野栄治 (千葉大学)
11:18	J47b 光学的に厚い円盤風を伴った降着円盤の見え方 西山晋史 (大阪教育大学)	13:54 J54a 相対論的に膨張する磁気アーケード中での粒子加速 高橋博之 (千葉大学)
11:18	J48b 光学的に薄い磁気降着円盤からの円盤風 町田真美 (国立天文台)	14:06 J55a 「すざく」衛星搭載広帯域全天モニタ (HXD/WAM) による GRB 観測の現状 大野雅功 (広島大学)
11:30	J49b ガンマ線バースト円盤上のコロナにおけるニュートリノ散乱 川畑亮二 (京都大学)	14:18 J56a Swift 衛星と「すざく」衛星による GRB060105 の早期 X 線残光の観測 田代 信 (埼玉大学)
11:30	J50b WIDGET と衛星データを用いた GRB プロンプト放射スペクトルの研究 桑原 允 (東京理科大学 / 理化学研究所)	14:30 J57a HETE-2 衛星の運用状況とこれまでの成果 玉川 徹 (理化学研究所)
11:30	J51b GRB060124 の可視光プロンプト放射の多色観測 浦田裕次 (埼玉大学)	14:42 J58a ガンマ線バーストの可視光残光から見積もったエネルギー変換効率と本体の性質 鈴木素子 (理化学研究所)
		14:54 J59a GRB 早期残光の多波長モデル 井岡邦仁 (京都大学)
		15:06 J60a 残光の偏光観測からガンマ線バーストの全エネルギーを測る 当真賢二 (京都大学)
		15:18 J61a ガンマ線バーストのスペクトルにおける陽子カスケードの影響 浅野勝晃 (国立天文台)

K. 超新星爆発

9月19日(火) 午前・F会場		9月19日(火) 午後・F会場	
10:00	K01a 超新星コアにおける衝撃波の不安定性と重力波 固武 慶 (国立天文台)	14:00	K12a XRF 060218/SN 2006aj と極超新星の可視光スペクトル 田中雅臣 (東京大学)
10:12	K02a 重力崩壊型超新星での磁気回転安定性 山崎達哉 (京都大学)	14:12	K13a XRF 060218/SN 2006aj の質量・爆発エネルギー・元素合成 富永 望 (東京大学)
10:24	K03a 超新星コア内部の磁気流体不安定性 政田洋平 (京都大学)	14:24	K14a 後期スペクトルで探る Ib/c 型超新星爆発の性質 前田啓一 (東京大学)
10:36	K04a 重力崩壊と超新星爆発における 3 次元 MHD 効果と質量放出 三上隼人 (千葉大学)	14:36	K15a 衝撃波により加速された星の外層の発展：数値計算と自己相似解の比較 菊地礼奈 (東京大学)
10:48	K05a 磁気駆動超新星爆発、その機構とニュートリノ重力波放射 滝脇知也 (東京大学)	14:48	K16a X 線での観測に基づいた Tycho' s SNR 中の物理量の推定 尾崎 仁 (東京大学)
11:00	K06a 重力崩壊型超新星爆発の衝撃波伝播と超新星ニュートリノ 川越至桜 (総合研究大学院大学)	15:00	K17a 「すざく」による SgrA East の観測 内山秀樹 (京都大学)
11:12	K07a Ia 型超新星からのニュートリノスペクトル 梶瀬高志 (日本大学)	15:12	K18a すざく衛星搭載 XIS による超新星残骸 RCW86 南西部の観測 植野 優 (東京工業大学)
11:24	K08a 超新星非等方ニュートリノ加熱風における r 過程元素合成 和南城伸也 (東京大学)	15:24	K19a 超新星 ejecta 中で形成されたダストはリヴァース衝撃波によって破壊されるか？ II 野沢貴也 (北海道大学)
11:36	K09a 種族 III 超新星の鉄族元素合成に対するニュートリノプロセスの寄与 吉田 敬 (国立天文台)	15:36	K20a 銀河系形初期の化学進化に見る第一世代星の元素合成 石丸友里 (工学院大学)
11:48	K10b 重力崩壊型超新星における p 過程元素合成：進化モデルによる不定性 西村信哉 (九州大学)		
11:48	K11b 特異な Ib 型超新星 SN2005bf の後期分光・測光観測とその解析 前田啓一 (東京大学)		

L. 太陽系

9月19日(火) 午前・B会場			
10:00	L01a 地球型惑星領域における氷微惑星の進化 町田亮介 (東京大学)	11:48	L12b 月のナトリウムの希薄大気分布と月面組成分布との相関 石橋之宏 (東北大学)
10:12	L02a Na 輝線の日心距離依存性：ブラッドフィールド彗星 (C/2004 F4) の場合 井内麻友美 (葛飾区郷土と天文の博物館)	12:00	L13b 可視広視野画像を用いた太陽系小天体探査 寺居 剛 (神戸大学)
10:24	L03a ダストトレイル理論による幻のほうおう座流星群の解明 渡部潤一 (国立天文台)	12:00	L14b 「はやぶさ」の次の小天体探査計画について 吉川 真 (宇宙航空研究開発機構)
10:36	L04a 73P/Schwassmann-Wachmann 彗星の中間赤外線分光観測：木星族彗星の結晶質シリケート 大坪貴文 (名古屋大学)		L15c 惑星・衛星の姿勢のその場観測による回転運動の検出可能性：月秤動・火星章動への応用 原田雄司 (東京大学)
10:48	L05a 73P/Schwassmann-Wachmann 彗星 C 核および B 核の偏光撮像観測速報 古荘玲子 (早稲田大学)		L16c Picard-Chebyshev 法の軌道力学への応用とそのベクトル化・並列化 2 荒木田英禎 (早稲田大学)
11:00	L06a 天体位置推算の高精度化について 片山真人 (国立天文台)	12:12	L17a シュレディンガー方程式からチチウスボーアの法則を導く (1) 新村公剛 (新村公剛公認会計士事務所)
11:12	L07a 古在機構の一般解 木下 宙 (国立天文台)	12:24	L18b 意外に知られざる天体の運動のしくみ・・・外惑星が内惑星を追い越すこともある 田中洗人 (ー)
11:24	L08a 動く軌道面上でのレビ・チビタ変換による摂動 2 体問題の正則化 福島登志夫 (国立天文台)	12:24	L19b 意外に知られざる天体の運動のしくみ・・・奇跡といえる惑星系の存在 田中洗人 (ー)
11:36	L09a ガウス流の普遍的な軌道要素の運動方程式 齋藤信明 (総合研究大学院大学)		
11:48	L10b 「すざく」衛星による 73P/Schwassmann - Wachmann の観測 半谷雅志 (中央大学)		
11:48	L11b 微小メインベルト小惑星の光度曲線観測 吉田二美 (国立天文台)		

M. 太陽

9月19日(火) 午前・D会場		9月19日(火) 午後・D会場	
10:00	M01a 太陽表面の磁気要素の高分解能観測(2) 石川遼子(東京大学)	11:48	M12b Introduction to the Yohkoh Legacy data Archive 武田 秋 (Montana State University)
10:12	M02a エラーマン・ボムの電磁流体シミュレーションとスペクトルの計算 中村太平(京都大学)		M13c 太陽面上磁束管浮上領域の磁氣的成長に同期して、長寿命のコロナ構造が発達する現象を見つけました。それについてポスター発表します。 吉村圭司(もんだな州立大学)
10:24	M03a Cloud Model を用いた短命領域の浮上速度の測定 大辻賢一(京都大学)		M14c 活動領域 NOAA10808 の磁気構造進化について 永田伸一(京都大学)
10:36	M04a 乱流モデルによる対流層からのヘリシティ入射量の評価 その2 山本哲也(東京大学)		M15c 「SOLAR-B 衛星」X線望遠鏡の温度感度と太陽コロナ温度診断 成影典之(宇宙航空研究開発機構)
10:48	M05a SMART で観測された太陽フィラメントの磁気ヘリシティ 萩野正興(京都大学)		
11:00	M06a 太陽活動領域における3次元MHD平衡磁場の再構築 草野完也(海洋研究開発機構)		
11:12	M07a コロナ磁場の測定 柴崎清登(国立天文台)		
11:24	M08a Alfvén wave and Nanoflare heating models, predicting differences in the observational signatures Antolin, Patrick(京都大学)		
11:36	M09a 磁気対流とコロナ加熱のMHDシミュレーション 磯部洋明(東京大学)		
11:48	M10b 太陽面活動と銀河系中心部：パーカー不安定によるループ形成 福井康雄(名古屋大学)		
11:48	M11b 噴出しつつあるプロミネンスの振動 磯部洋明(東京大学)		
		14:00	M16a 全球太陽コロナ3次元電磁流体モデリングコードの開発 塩田大幸(京都大学/海洋研究開発機構)
		14:12	M17a 太陽コロナの大規模構造の電磁流体モデリング 松本琢磨(京都大学)
		14:24	M18a CMEに伴うFlux Tube放出の3次元非線形ダイナミクス 井上 諭(名古屋大学)
		14:36	M19a SMARTを用いたフレアカーネルと光球磁場構造との空間的相関調査 上野 悟(京都大学)
		14:48	M20a 電波と軟X線画像から求めたシグモイド質量の長時間追尾 並木優子(総合研究大学院大学)
		15:00	M21a 2005年8月24日の磁気嵐を引き起こしたフレア・CMEと、活動領域NOAA10798のアネモネ構造 浅井 歩(国立天文台)

N. 恒星

		9月19日(火) 午前・C会場
15:12	M22a 今活動周期で最も活発であった領域 NOAA 10808 のフレア発生機構 長島 薫 (京都大学)	10:00 N01a 「宇宙の噴水」： W43A 水メーザーに見られる恒星ジェット (その3) 今井 裕 (鹿児島大学)
15:24	M23a 長寿命 (LDE) フレアと impulsive フレアの継続時間の違いの原因は何か? 西田圭佑 (京都大学)	10:12 N02a 単独星からのジェット形成 宮路茂樹 (千葉大学)
15:36	M24a 速いリコネクションから遅いリコネクションへの連続遷移と構造変化 新田伸也 (電気通信大学 / 国立天文台)	10:24 N03a II 型セファイド変光星の周期光度関係 松永典之 (東京大学)
15:48	M25a 高磁気レイノルズ数領域における非線形テアリング不安定性の高精度数値シミュレーション 三好隆博 (広島大学)	10:36 N04a 可視・赤外恒星カタログから探る大マゼラン雲の赤色巨星種族 中田好一 (東京大学)
16:00	M26a 03-Nov-2003 X3.9 フレアにおける非熱的ループトップ硬 X 線源 宮腰 純 (総合研究大学院大学)	10:48 N05a RV Tau 型星 R Scuti のダストモデルと光赤外干渉計観測 西村健志 (日本大学)
16:12	M27a Study on a birth environment of metric type II bursts 堀 久仁子 (国立天文台)	11:00 N06b 熱的不安定性による赤色巨星風のクランプ構造 鈴木 建 (東京大学)
16:24	M28a プラズモイドのファーストショック通過によるフェルミ加速の検証 西塚直人 (京都大学)	11:00 N07b うみへび座 U 星ダストシエルの輝度変動探査 泉浦秀行 (国立天文台)
		11:00 N08b 球状星団にあるミラ型変光星の探査とその周期光度関係 松永典之 (東京大学)
		11:12 N09b 特異新星 V838 Monocerotis の赤外線偏光観測 福士比奈子 (東京大学)
		N10c 輝炭素星 19 Psc の可視光スペクトル解析 釘宮大樹 (福岡教育大学)
		11:12 N11b VERA によるミラ型変光星 R Aqr 星周の一酸化ケイ素メーザーの観測 蒲原龍一 (国立天文台)
		11:12 N12b VERA による超巨星のメーザー観測 Choi, Yoonkyung (東京大学)

11:24	N13b 2MASS 公開画像中にみられる変光天体 (2) ~銀緯による違い~ 高妻真次郎 (九州大学)	14:24	N25a Post-AGB 星にディスクは存在するか? 松浦美香子 (国立天文台)
11:24	N14b J. Bayer 「Uranometria」による突発天体の探査 井上法子 (福岡教育大学)	14:36	N26a How the fast stellar wind blowing – A lesson from the recent X-ray observations of planetary nebulae 藤本正行 (北海道大学)
11:24	N15b G 型巨星の組成解析 村多大輔 (神戸大学)	14:48	N27a 高分解能 FTS スペクトルの定量解析: RGB 及び AGB 星における炭素及び酸素同位体組成比 辻 隆 (東京大学)
	N16c 太陽類似星の高分散分光解析: 太陽は特殊な星か? 普通の星か? 竹田洋一 (国立天文台)	15:00	N28a s- プロセス過剰天体 CS 31062 – 050 と LP 625 – 44 の Os, Ir 組成 青木和光 (国立天文台)
11:36	N17b XMM-Newton 衛星による HD57060 の X 線観測 菅原泰晴 (中央大学)	15:12	N29a r プロセス元素過剰な金属欠乏星の化学組成 I 本田敏志 (国立天文台)
11:36	N18b Suzaku による大質量 η Carinae の X 線スペクトル解析 関口晶子 (立教大学)	15:24	N30a 金属欠乏星による軽元素合成の新しい可能性 中村 航 (東京大学)
11:36	N19b DSMC による星風降着流の数値計算 大杉幸督 (神戸大学)	15:36	N31a データベースを用いた金属欠乏星の性質 須田拓馬 (東京大学)
11:48	N20b 高速自転星のロッジモデル構築 岡安紀明 (日本大学)	15:48	N32a 中低質量超金属欠乏星での α 粒子 / 中性子捕獲反応経路 西村高德 (北海道大学)
11:48	N21b B 型輝線星プレオネ (28 Tau) の新活動期における測光・分光観測 田中謙一 (大阪教育大学)	16:00	N33a 惑星を持つ星のアルファ元素と鉄族元素の振る舞い (I): マグネシウム、硫黄、亜鉛の解析 比田井昌英 (東海大学)
	N22c 近接連星 ET Leo 及び V753 Mon の測光観測 (I) 松本雄輝 (防衛大学校)		
9月19日(火) 午後・C会場			
14:00	N23a Mapping observations of the dust shell of U Antliae with SST/MIPS Izumiura, Hideyuki (Natural Institute of Natural Science)	16:12	N34a RS CVn 型連星 V711 Tau の高時間分解能高分散分光観測による恒星フレアの機構の解明 栗山純一 (京都大学)
14:12	N24a ミラ型変光星 W Dra の特異なシリケートダストの空間分布とその起源 上塚貴史 (東京大学)		

P. 星・惑星形成

9月19日(火) 午前・A会場			
10:00	P01b VERA による W3(OH) 水メーザーの位相補償 VLBI 観測 倉山智春 (国立天文台)	11:36	P14b SUBARU ADAPTIVE OPTICS SPECTROSCOPY OF THE [Fe II] OUTFLOWS FROM HL TAURI AND RW AURIGAE Pyo, Tae-Soo (国立天文台)
10:00	P02b VERA による NGC7538 領域の水メーザー観測 II 亀谷 収 (国立天文台)	11:36	P15b X線原始星 YLW15 からのミリ波フレアの検出 梅本智文 (国立天文台)
10:00	P03b 銀河系外縁部星形成領域の分子線観測 望月奈々子 (宇宙航空研究開発機構)	11:36	P16b Zeeman 効果による YSO ジェットの磁場観測の可能性 須崎亮平 (京都大学)
10:12	P04b Spitzer 赤外線天文衛星による大マゼラン雲のマッピング観測 河村晶子 (名古屋大学)	11:48	P17b 衝撃波圧縮領域の分裂可能性と星団形成 釣部 通 (大阪大学)
10:12	P05b 高銀緯分子雲 MBM55 の近赤外撮像観測 II 岸辺紀幸 (神戸大学)	11:48	P18b 衝撃波によって束縛された等温平板の重力不安定性について 岩崎一成 (大阪大学)
10:12	P06b 大質量星形成領域 BRC68 の近赤外撮像観測 堀 美沙 (神戸大学)	11:48	P19b 重量星の質量降着進化 細川隆史 (国立天文台)
10:24	P07a 近傍系外銀河中心部の CO(J=1-0) サーベイ: 銀河形態の関数としてのシュミット則 小麦真也 (東京大学)	9月19日(火) 午後・A会場	
10:36	P08a VERA による近傍星形成領域の距離決定 廣田朋也 (国立天文台)	14:00	P20a 大質量星形成領域における複雑な有機分子: NGC2264 における HCOOCH ₃ の分布 坂井南美 (東京大学)
10:48	P09a Infrared Polarization View of the Orion Nebula Revealed with SIRPOL 田村元秀 (国立天文台)	14:12	P21a 星団形成クランプ内における高密度コアの物理量分布 齋藤弘雄 (国立天文台)
11:00	P10a M42 の近赤外偏光観測: 磁場構造 日下部展彦 (総合研究大学院大学)	14:24	P22a ASTE を用いたオリオン分子雲 -2/3 領域のサブミリ波 CO 分子流サーベイ 高橋智子 (総合研究大学院大学)
11:12	P11a OMC-1S の近赤外偏光観測 橋本 淳 (東京理科大学)	14:36	P23a ASTE による cluster 形成領域 IRAS 10365 - 5803 の高分解能観測 米倉覚則 (大阪府立大学)
11:24	P12a NGC 2024 の近赤外偏光観測 神鳥 亮 (国立天文台)		
	P13c 2MASS による L1630 領域の YSOs 分布 池田尚史 (名古屋市立大学)		

14:48	P24a W4 に付随する Bright Rimmed Cloud での連鎖的星形成 川原健太郎 (岡山理科大学)	9月20日(水) 午前・A会場			
15:00	P25a 初期太陽系短寿命放射性核種存在度から考える太陽系形成環境 橘 省吾 (東京大学)			09:30	P36a 星間分子雲分裂の三次元磁気流体力学数値シミュレーション: 弱電離ガスにおける磁気拡散の効果と乱流の影響 工藤哲洋 (国立天文台)
15:12	P26a クラスタ形成領域の高密度ガス・分子流のNMA観測2 島尻芳人 (東京大学)			09:42	P37a 小質量星形成領域における原始星アウトフローの役割について 中村文隆 (新潟大学)
15:24	P27a Barnard 1 領域における原始星アウトフローと分子雲の相互作用 平松正顕 (東京大学)			09:54	P38b 近赤外高分散分光観測による前主系列星の表面重力の測定 高木悠平 (神戸大学)
15:36	P28a ASTE Chamaeleon Project: Class 0/I 原始星 IRAS13036 - 7644 のサブミリ波輝線観測 亀谷和久 (東京大学)			09:54	P39b 古典的 T タウリ型星 DO Tau の近赤外コロナグラフ観測 II 伊藤洋一 (神戸大学)
15:48	P29a 野辺山 45m 電波望遠鏡によるおうし座分子雲コアの N_2H^+ 観測 林 暁子 (名古屋大学)			09:54	P40b 固有運動による Post T Tauri 型星の探査 金井 徹 (神戸大学)
16:00	P30b Barnard 1c Jet の速度構造 仲野 誠 (大分大学)			10:06	P41a 異なる環境下でのシリケートグレインの合成実験と赤外スペクトル 木村勇気 (立命館大学)
16:00	P31b Serpens Molecular Cloud における可視・近赤外観測 上原麻里子 (名古屋大学)			10:18	P42a 輝石微粒子の遠赤外スペクトルの温度効果 小池千代枝 (京都薬科大学)
16:00	P32b NGC1333 領域における超低質量天体形成 大朝由美子 (神戸大学)			10:30	P43a 鉄を僅かに含んだフォルステライト結晶の遠赤外線吸収ピークにおける化学組成と温度に関する依存性 茅原弘毅 (大阪大学/京都薬科大学)
16:12	P33b 近赤外撮像観測による「はえ座分子雲」の星形成探査 宮本 泉 (神戸大学)			10:42	P44a オリビン 11.2 μm ピークは正しい Mg/Fe 比を示すか? 村田敬介 (大阪大学)
16:12	P34b プレアデスに属する若い恒星の金属量 船山日斗志 (神戸大学)			10:54	P45b 原始惑星系円盤からの水素分子輝線 III. X線照射及びダスト進化の影響 野村英子 (神戸大学)
16:12	P35b 微量の重元素をもった超新星残骸の熱的・化学的進化 長倉隆徳 (東京大学)			10:54	P46b 原始惑星系円盤の磁場が原始惑星移動に与える影響について 武藤恭之 (京都大学)
					P47c 合体成長時におけるダストの構造進化 陶山 徹 (北海道大学)

10:54	P48b 液滴分裂による複合コンドリュール形成 中本泰史 (筑波大学)	9月21日(木) 午前・A会場	
11:06	P49b ホットジュピターからのダストの流出可能性について 福江 翼 (京都大学)	09:30	P59a 原始惑星系円盤内縁領域における磁気回転不安定性によるKH渦の誘発 中村佳太 (東京工業大学)
11:06	P50b 小型望遠鏡による系外惑星のトランジット観測 石隈慎一郎 (神戸大学)	09:42	P60a 原始惑星系円盤における磁場の不均一性を考慮に入れた磁気回転不安定性によるガス回転速度の変化とダスト集積の可能性 加藤真理子 (東京工業大学)
9月20日(水) 午後・A会場		09:54	P61a 光学的に薄いガス円盤中での光泳動によるダストの集積 竹内 拓 (神戸大学)
13:30	P51a ASTEによる原始星星周エンベロープのサブミリ波分子輝線 HCN (4-3), CS (7-6) 観測 高桑繁久 (国立天文台)	10:06	P62a A thin disk model of the gravitational instability in the dust layer of a protoplanetary disk 関谷 実 (九州大学)
13:42	P52a おおかみ座分子雲における古典的Tタウリ型星のサブミリ波輝線観測 2-星周ガスの進化と散逸- 塚越 崇 (総合研究大学院大学)	10:18	P63a 重力不安定による微惑星形成のシミュレーション 道越秀吾 (京都大学)
13:54	P53a 分子雲の動的圧縮による星形成の臨界降着率 花輪知幸 (千葉大学)	10:30	P64a 短周期太陽系外惑星の軌道進化 長沢真樹子 (国立天文台)
14:06	P54a radiation-driven implosionによる星形成 本山一隆 (ASIAA/TIARA, Taiwan)	10:42	P65a 原始惑星からの地球型惑星形成 - 原始惑星分布領域幅依存性 小久保英一郎 (国立天文台)
14:18	P55a ファーストコアの進化トラック: 時間スケール・光度変化・輻射温度の予測 西合一矢 (国立天文台)	10:54	P66a 乱流円盤中での地球型惑星集積の最終ステージ 荻原正博 (東京工業大学)
14:30	P56a 中小質量星形成効率の推定. 星風モデルへの依存性 中野武宣 (-)	11:06	P67a 惑星形成終盤における円盤ガスの温度構造 坂本晶子 (東京大学)
14:42	P57a 星形成過程における分子流と光学ジェットの駆動メカニズム 町田正博 (京都大学)	11:18	P68a 衝撃波加熱コンドリュール形成モデル: プロレートコンドリュールの形成 三浦 均 (京都大学)
14:54	P58a 原始星におけるフレアのシミュレーションおよび予測される硬X線スペクトル II 川道俊見 (京都大学)		

Q. 星間現象

9月21日(木) 午後・A会場	9月20日(水) 午前・D会場
13:30 P69a MOA II 望遠鏡による太陽系外惑星の探索 1 阿部文雄 (名古屋大学)	09:30 Q01a 分子雲をプローブとする相対論的ジェット候補の発見 I: MJG348.5 山本宏昭 (名古屋大学)
13:42 P70a MOA-II 望遠鏡による太陽系外惑星の探索 2 神谷浩紀 (名古屋大学)	09:42 Q02a 分子雲をプローブとする相対論的ジェット候補の発見 II SS433 伊藤晋吾 (名古屋大学)
13:54 P71a 岡山プラネットサーチプロジェクト「G型巨星の惑星探し」: 2005年の観測成果報告 佐藤文衛 (国立天文台)	09:54 Q03a 北大苫小牧 11m 電波望遠鏡によるアンモニア探査観測 徂徠和夫 (北海道大学)
14:06 P72a ドップラーシフト法による連星系の系外惑星探査 豊田英里 (神戸大学)	10:06 Q04a NH ₃ 分子輝線によるオリオンフィラメント領域の観測 栗野穰太 (北海道大学)
14:18 P73a 系外トラスの輝線プロファイル及び伴天体による影 福江 翼 (京都大学)	10:06 Q05c 巨大分子雲複合体 W43S の NH ₃ 分子輝線観測 西谷洋之 (北海道大学)
14:30 P74a ダスト - デブリ円盤にダスト昇華がもたらす影響 小林 浩 (名古屋大学)	10:06 Q06c NH ₃ 反転遷移スペクトル線のみでみる高密度コアの広がりと速度情報 保坂啓太 (北海道大学)
14:42 P75a Light scattering properties of irregularly shaped particles of core-mantle structure Zubko, Evgenij (北海道大学)	10:18 Q07a 天の川銀河中心領域の NH ₃ (J,K)=(1,1),(2,2) 輝線広域サーベイ 永山 匠 (鹿児島大学)
	10:30 Q08a 銀河系中心 Central Molecular Zone における高励起ガスの分布とその起源 岡 朋治 (東京大学)
	10:42 Q09a 銀河系中心 $l=1.3^\circ$ 領域の高密度分子ガスの分布 田中邦彦 (東京大学)
	10:54 Q10a 銀河系中心部の重力場の導出について 竹内友岳 (名古屋大学)
	11:06 Q11a 銀河系中心 $L=0.9^\circ$ Anomaly の HCN、HCO ⁺ 輝線観測 永井 誠 (東京大学)
	11:18 Q12a AGN 周囲分子ガスの HCN/HCO ⁺ 比診断: 輻射輸送計算による考察 山田雅子 (国立天文台)

9月20日(水) 午後・D会場			
13:30	Q13a 銀河系中心部の分子雲ループの発見1 ー全体像ー 福井康雄 (名古屋大学)	15:06	Q25b ART法を用いた NonLTE 輻射輸送計算と CO 輝線プロファイルの計算 今枝佑輔 (神戸大学)
13:42	Q14a 銀河系中心部の分子雲ループの発見2 ー銀河系中心部の分子雲ループの発見ー 工藤奈都子 (名古屋大学)		Q26c NRO/CSO/ASTE Galactic Plane CO Survey 澤田剛士 (国立天文台)
13:54	Q15a 銀河系中心部の分子雲ループの発見3 ー分子雲と中性水素の比較ー 鳥居和史 (名古屋大学)	9月21日(木) 午前・D会場	
14:06	Q16a パーカー不安定性による銀河系中心部分子雲ループの形成 松元亮治 (千葉大学)	09:30	Q27a 磁気雲の動的形成モデル 井上剛志 (京都大学)
14:18	Q17a 銀河系中心分子雲ループ形成の局所シミュレーション 野澤 恵 (茨城大学)	09:42	Q28a 低温度星間雲における乱流の起源に関する考察 釜谷秀幸 (京都大学)
14:30	Q18a 銀河中心核ガス円盤の大局的 3 次元 MHD 数値実験 町田真美 (国立天文台)	09:54	Q29a 「すざく」による銀河中心近傍における 6.4keV 放射の観測 瀧川庸二郎 (京都大学)
14:42	Q19b 銀河系中心部の分子雲ループの発見4 ー第4象限の正速度ループー 藤下基線 (名古屋大学)	10:06	Q30a 「すざく」衛星による SgrB1 の観測 信川正順 (京都大学)
14:42	Q20b すざく衛星による North Polar Spur の観測 常深 博 (大阪大学)	10:18	Q31a 「すざく」による分子雲 Sgr B2 における中性鉄輝線の時間変動 乾 達也 (京都大学)
14:42	Q21b すざく衛星による白鳥座ループの北東端の4点観測 勝田 哲 (大阪大学)	10:30	Q32a すざくによる銀河中心射手座 C 分子雲領域の観測 中嶋 大 (京都大学)
14:54	Q22b Cha I North 領域の $^{13}\text{CO}(3-2)$ 輝線観測 早川貴敬 (国立天文台)	10:42	Q33a 「すざく」による銀河面・銀河中心からの硬 X 線ディフューズ放射の解析 湯浅孝行 (東京大学)
14:54	Q23b 60cm ミリ波望遠鏡による Serpens 領域の $^{12}\text{CO}, ^{13}\text{CO} J=2-1$ 同時観測 中島 拓 (大阪府立大学)	10:54	Q34a X 線天文衛星「すざく」によるオメガ星雲における広がった X 線放射の観測 兵藤義明 (京都大学)
14:54	Q24b ASTE による大質量星形成領域 Sgr B2 のサブミリ波輝線観測 新井敬朗 (東京大学)	11:06	Q35a すざく衛星による超新星残骸 SN1006 の観測 山口弘悦 (京都大学)
		11:18	Q36a Vela X 中心部の硬 X 線観測 森 浩二 (宮崎大学)

R. 銀河

9月21日(木) 午後・D会場	9月20日(水) 午前・C会場
13:30 Q37a 発光スペクトルによるシリケートと水素プラズマの反応解析 木村誠二 (電気通信大学)	09:30 R01a 「バミュウダの三角形」からのメーザー電波の検出 出口修至 (国立天文台)
13:42 Q38a 惑星状星雲 BD+303639 におけるダストの進化 松本裕子 (東京大学)	09:42 R02a 銀河系中心領域の 8.38GHz マッピング観測 藤沢健太 (山口大学)
13:54 Q39a 銀河系内星間物質の $^{12}\text{C}/^{13}\text{C}$ 比 - $^{12}\text{C}^{18}\text{O}/^{13}\text{C}^{18}\text{O}$ 比の高解像度ミリ波観測によるアプローチ 阪本成一 (国立天文台)	09:54 R03a 銀河系中心超巨大ブラックホールの過去の高い活動性と 511 keV 電子陽電子対消滅ガンマ線 戸谷友則 (京都大学)
14:06 Q40a 「すざく」による銀河面リッジ X 線放射の観測 海老沢 研 (宇宙航空研究開発機構)	10:06 R04a 重力波放射の反跳が銀河中心超大質量ブラックホールの質量函数に与える影響 榎 基宏 (国立天文台)
14:18 Q41a 「すざく」による銀河バルジ方向の星間空間中高温プラズマの研究 - NGC6624 方向の X 線吸収線と輝線による空間 / 温度分布への制限 - 吉野友崇 (宇宙航空研究開発機構)	10:18 R05a 銀河中心部における星団の進化の N 体シミュレーション 藤井通子 (東京大学)
14:30 Q42a 「すざく」による星間 / 銀河間空間の中高温プラズマの研究 - LMC X-3 方向の X 線吸収線と輝線による密度と空間分布への制限 - 萩原利士成 (宇宙航空研究開発機構)	10:30 R06b 銀河系中心領域へのガス供給 行方大輔 (北海道大学)
14:42 Q43a 大マゼラン雲における分子雲と HI ガスの比較 入谷日奈子 (名古屋大学)	10:30 R07b 巨大ブラックホールバイナリーがその周りのガスディスクに及ぼす影響 松井秀徳 (北海道大学)
14:54 Q44a ASTE によるマゼラン雲の $^{12}\text{CO}(3-2)$ 輝線観測 (2) : 小マゼラン雲 南谷哲宏 (名古屋大学)	10:30 R08b ブラックホール 3 体系を持つ銀河中心核の構造 II 岩澤全規 (東京大学)
	10:42 R09a 1 型超高光度赤外線銀河とクェーサーとの物理的關係から大質量ブラックホール成長過程を探る 川勝 望 (国立天文台)
	10:54 R10a 爆発的星形成 - AGN 関係を生み出す物理機構の観測的示唆 渡部靖之 (筑波大学)
	11:06 R11a 「すざく」及び「XMM-Newton」によるスターバースト銀河 M82 銀河風の X 線観測 小澤 碧 (京都大学)

11:18	R12b 宇宙線電子ハローおよび電波ハローの構造計算 三宅晶子 (茨城大学)	14:30	R23b SPH 法による大小マゼラン雲の衝突シミュレーション 沢 武文 (愛知教育大学)
11:18	R13b 棒渦巻銀河 M83 における、CO(3-2)/CO(1-0) 比と星形成効率の相関 村岡和幸 (東京大学)	14:42	R24a IRSF マゼラン雲近赤外線点源カタログの評価と活用 加藤大輔 (名古屋大学)
11:18	R14b Detection of ammonia in the ultraluminous infrared galaxy Mrk 231 高野秀路 (国立天文台)	14:54	R25a Large Area Survey Observation of the Large Magellanic Cloud with AKARI 尾中 敬 (東京大学)
9月20日(水) 午後・C会場			
13:30	R15a E+A 銀河のご近所さんを探せ! 山内千里 (宇宙航空研究開発機構)	15:06	R26a 大マゼラン雲中の若い星団形成領域及び CO 分子雲中の赤外放射の性質 左近 樹 (東京大学)
13:42	R16a Passive Spiral 銀河の空間分解されたスペクトルの解析 石垣美歩 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)	15:18	R27a 銀河系とマゼラン雲に共通するダストの遠赤外輻射特性 平下博之 (筑波大学)
13:54	R17a 渦巻銀河におけるパターン速度と星形成時間の決定 II 江草美実 (東京大学)	9月21日(木) 午前・C会場	
14:06	R18a 渦巻銀河 M33 の渦状腕における高密度ガス形成と大質量星形成 II ~ NGC604 領域の分子雲の性質と運動 ~ 三浦理絵 (東京大学 / 国立天文台)	09:30	R28a 高解像度宇宙論的 N 体シミュレーションによるサブストラクチャ・ペアの力学的進化の解析 石山智明 (東京大学)
14:18	R19a 近傍円盤銀河の「赤い」紫外線が示すダストの性質 井上昭雄 (大阪産業大学)	09:42	R29a 固有運動の観測から矮小銀河を発見する方法について 船渡陽子 (東京大学)
14:30	R20b 野辺山ミリ波干渉計による早期型渦巻銀河の CO 輝線サーベイ 奥田武志 (東京大学)	09:54	R30a Suprime-Cam で探るアンドロメダ銀河ハローの構造 II 田中幹人 (国立天文台)
14:30	R21b 形成過程にある円盤における棒状構造の形成 馬場淳一 (東北大学)	10:06	R31a ハロー超金属欠乏星から探る銀河系史への連星の影響 小宮 悠 (北海道大学)
	R22c Ks バンド撮像による近傍 edge-on 銀河円盤の scale height 測定 伊藤信成 (三重大学)	10:18	R32a 銀河系ハロー外縁部における暗く古い恒星系の検出 坂本 強 (国立天文台)
		10:30	R33a Kiso Outer Galaxy Survey - 銀河系外縁部における星分布の調査 中西裕之 (国立天文台)

		9月21日(木) 午後・C会場
10:42	R34a VERA を用いた kpc スケールの距離に位置する星形成領域の位置天文観測 本間希樹 (国立天文台)	13:30 R45a GRAPE-DR の開発状況 牧野淳一郎 (国立天文台)
10:54	R35b 銀河系円盤外縁部における矮小銀河起源の散開星団の探査 長谷川 隆 (ぐんま天文台)	13:42 R46a 重力多体問題に対する時間対称な独立時間刻み積分スキーム 保坂桂佑 (東京大学)
10:54	R36b VERA による 22GHz の水メーザー源サーベイとメーザー大きさの測定 Oh, Chungsik (東京大学)	13:54 R47a 高密度星団における連星束縛エネルギー分布の漸近的進化 谷川 衝 (東京大学)
10:54	R37b 多重像クエーサの中間赤外撮像に基づく冷たい暗黒物質の性質 (II) 峰崎岳夫 (東京大学)	14:06 R48a 球状星団 Omega Centauri に見られる2つの主系列の起源について 茂山俊和 (東京大学)
	R38c ダークハロー合体史に基づく銀河円盤の形成と進化 林 寛人 (東北大学)	14:18 R49a FPGA を用いた再構成可能な計算機による天体物理-2次元 Kolmogorov-Smirnov テストと矮小銀河の色等級図 伊吹山秋彦 (理化学研究所)
	R39c 近傍中性水素雲とクエーサー吸収線系 大越克也 (電気通信大学)	14:30 R50a 早期型銀河に於ける光学的性質と化学組成の関係 山田善彦 (国立天文台)
	R40c 強い重力レンズの離角 川野羊三 (名古屋大学)	14:42 R51a SPH シミュレーションによる楕円銀河の色等級図・その1 小林千晶 (国立天文台)
11:06	R41a Submillimetre properties of BzKs, DRGs and EROs in SHADES/SXDF 高木俊暢 (宇宙航空研究開発機構)	14:54 R52a SPH シミュレーションによる楕円銀河の色等級図: その2 生田ちさと (国立天文台)
11:18	R42b ERO、BzK 天体から示唆される楕円銀河の個数密度進化 今井弘二 (宇宙航空研究開発機構)	15:06 R53a XMM-Newton 衛星による NGC1395 の観測 薙野 綾 (東京理科大学)
11:18	R43b 赤外線天文衛星「あかり」による北黄極大規模サーベイの進捗状況 大藪進喜 (宇宙航空研究開発機構)	15:18 R54a 「すざく」衛星による孤立した楕円銀河 NGC 720 の高温ガスの重元素組成比の測定 松本千穂 (名古屋大学)
11:18	R44b Gas metallicity diagnostics in star-forming galaxies 長尾 透 (国立天文台)	

S. 活動銀河核

9月19日(火) 午前・G会場		9月19日(火) 午後・G会場	
10:00	S01a 我銀河中心部デシメータ電波パルスの観測 – 福井工業大学あわら宇宙電波観測システムの成果 西阪飛鳥 (福井工業大学)	11:36	S11a 水メーザーの観測による活動銀河 IC1481 の準ケプラー回転円盤の検出 間明田好一 (筑波大学)
10:12	S02a 我銀河系中心部・電波パルス放射のスペクトル特性 – 多数の巨大カー・ブラックホール群起源 大家 寛 (福井工業大学)	11:48	S12b Seyfert 2 型銀河 IC2560 の水メーザー円盤 山内 彩 (筑波大学)
10:24	S03a 巨大バイナリーブラックホール探査の新方法 早崎公威 (京都大学)	11:48	S13b 活動銀河中心における降着円盤での分子冷却 富田昭博 (熊本大学)
10:36	S04a Japanese VLBI Network (JVN) による radio-loud 狭輝線セイファート 1 型銀河の撮像観測 土居明広 (山口大学)	11:48	S14b 多周波電波観測で探る活動銀河 NGC 1052 のプラズマトーラスの構造 中村佳代子 (鹿児島大学)
10:48	S05a BL Lac 天体の歳差ジェットの探索 堀内真司 (Swinburne University of Technology)	9月19日(火) 午後・G会場	
11:00	S06a 0333+321 ジェットの VLBA 偏波観測 浅田圭一 (国立天文台)	14:00	S15a 「すざく」衛星による Compton thick 2 型セイファート銀河 Mrk3 の観測 栗木久光 (愛媛大学)
11:12	S07a Magnetic Tower Jet における収束及び安定性 中村雅徳 (ロスアラモス国立研究所)	14:12	S16a すざく衛星による NLS1 銀河 1H0707-495 の観測 林田 清 (大阪大学)
11:24	S08b 3C 84 電波ローブのシンクロトロンブレイクの測定 永井 洋 (総合研究大学院大学)	14:24	S17a 「すざく」衛星による明るい 2 型セイファート銀河の硬 X 線観測 伊藤 健 (東京大学)
11:24	S09b トランジェント電波源の探索とその解析 中村亮介 (早稲田大学)	14:36	S18a すざく衛星による 2 型セイファート銀河 NGC4388 の観測 白井裕久 (広島大学)
11:24	S10b 急激な減光を示したトランジェント電波源 新沼浩太郎 (早稲田大学)	14:48	S19a すざく衛星による、電波銀河 3C 120 の「深」観測 片岡 淳 (東京工業大学)
		15:00	S20a 「すざく」衛星によるセイファート銀河 NGC 4051 の広帯域 X 線スペクトル変動の観測 寺島雄一 (愛媛大学)

15:12	S21a	XMM-Newton 衛星がとらえた NGC 4051 の低光度時のスペクトル解釈 幅 良統 (名古屋大学)	10:30	S31a	MAGNUM プロジェクト (1) 中質量ブラックホール Seyfert 銀河 GH04 の多波長モニター観測 坂田 悠 (東京大学)
15:24	S22a	「すざく」衛星によるセイファート銀河 MCG-6-30-15 の時間変動の観測 深沢泰司 (広島大学)	10:42	S32a	MAGNUM プロジェクト (2) I型 AGN 可視赤外変動成分解析によるダストトーラスの研究 富田浩行 (東京大学)
15:36	S23a	活動銀河ジェットを包むコクーンからの MeV ガンマ線放射 紀 基樹 (大阪大学)	10:54	S33b	NGC1068 の可視光中分散分光観測 尾崎忍夫 (京都大学)
15:48	S24a	2 温度プラズマの力学的、熱的時間発展 Kim, Myonggwon (大阪大学)	10:54	S34b	SDSS から探る狭輝線領域の電離メカニズム 橋本哲也 (東京大学)
16:00	S25b	XMM-Newton 衛星を用いた低光度活動銀河核の時間変動の研究 小川 悠 (愛媛大学)	10:54	S35b	レーザー 3C454.3 の可視光観測 住友那緒子 (大阪教育大学)
9 月 20 日 (水) 午前・G 会場					
09:30	S26a	Discovery of a new high redshift QSO at $z=5.96$ with the Subaru telescope 後藤友嗣 (宇宙航空研究開発機構)			
09:42	S27a	近赤外線分光観測による BLR 中性領域の研究 松岡良樹 (東京大学)			
09:54	S28a	AGN からのシリケート放射 - COMICS による NGC 3998 の撮像 友野大悟 (国立天文台)			
10:06	S29a	CO 回転振動遷移の吸収線を用いた AGN 分子トーラスの直接観測 (III) 白旗麻衣 (宇宙航空研究開発機構)			
10:18	S30a	セイファート 1 型銀河 NGC 7469 における中心核周辺活動 服部 堯 (国立天文台)			
			11:06	S36b	51 望遠鏡を用いたレーザー OJ287 の V,R,I-band 測光観測 鎌田麻里 (大阪教育大学)

T. 銀河団

9月21日(木) 午前・B会場		9月21日(木) 午後・B会場	
09:30	T01a Chandra・XMM-Newton で探る銀河群 HCG62 のX線キャビティの性質 大橋隆哉 (首都大学東京)	13:30	T11a 銀河団サブストラクチャーのX線ピークと質量ピークのずれについて 滝沢元和 (山形大学)
09:42	T02a すざく衛星で観測された銀河団 A1060 の温度構造と重元素分布 佐藤浩介 (東京都立大学)	13:42	T12a 銀河は飛ぶか? 藤田 裕 (大阪大学)
09:54	T03a 「すざく」による銀河団 A2218 の観測 竹井 洋 (宇宙航空研究開発機構)	13:54	T13a 乱流磁場中での銀河団プラズマ冷却の3次元磁気流体数値実験 浅井直樹 (千葉大学)
10:06	T04a すざく衛星による Centaurus 銀河団中のガスバルク運動測定 太田直美 (理化学研究所)	14:06	T14a Jitter Radiation を用いた岡部・服部銀河団磁場生成モデル検証法の提案 服部 誠 (東北大学)
10:18	T05a すざく衛星による Fornax 座銀河団の観測 - 重元素の分布と起源 - 松下恭子 (東京理科大学)		
10:30	T06a 「すざく」衛星による銀河団からの非熱的硬X線放射の探査 川埜直美 (広島大学)		
10:42	T07a 銀河団ガス内のゆらぎと温度推定の系統誤差 河原 創 (東京大学)		
10:54	T08a 銀河間物質の非平衡電離過程を考慮したダークバリオンのシミュレーション 吉川耕司 (東京大学)		
11:06	T09a 銀河団ガスのコア構造: ガス-質量比の熱的進化とガスの自己重力の影響 赤堀卓也 (東京都立大学)		
11:18	T10b 小規模銀河群捕捉の数値シミュレーションに向けた SPH コードの最適化 赤堀卓也 (東京都立大学)		

U. 宇宙論

9月20日(水) 午前・B会場		9月20日(水) 午後・B会場	
09:30	U01a SDSS 銀河及びクエーサーを用いた銀河系内ダストマップの検証 矢幡和浩 (東京大学)	11:18	U12a WMAP によるニュートリノ質量への制限 市川和秀 (東京大学)
09:42	U02a Loh & Spillar test による宇宙論パラメータの決定 田坂 守 (東京大学)		U13c ダークエネルギー・ニュートリノ間相互作用に対する宇宙背景輻射からの制限 市來淨與 (東京大学)
09:54	U03b 20m 固定球面鏡によるトランジット電波源候補 WJN 134X+32 の観測 貴田寿美子 (早稲田大学)		
09:54	U04b 宇宙論的磁場の密度場進化に対する影響 山崎 大 (東京大学)	13:30	U14b CMB Secondary anistropy of moving cluster 疋田進一 (名古屋大学 / 大阪大学)
09:54	U05b WMAP データのミンコフスキー汎関数解析から探る宇宙初期ゆらぎの非ガウス性への制限 日影千秋 (名古屋大学)	13:30	U15b 時間変化する宇宙項に対する宇宙背景放射からの制限 中村理央 (九州大学)
10:06	U06a 銀河バイアスの非線形性とバイスペクトル: 摂動論とシミュレーション・SDSS 銀河 西道啓博 (東京大学)	13:30	U16b レンズ銀河の楕円率と個数密度の赤方偏移進化が QSO レンズ統計に与える影響 松本明子 (東北大学)
10:18	U07a 銀河特異速度の無モデル測定法 加用一者 (名古屋大学)	13:42	U17a The SDSS Quasar Lens Search 稲田直久 (東京大学)
10:30	U08a 地球質量サイズの暗黒物質ハロー: 銀河内での生存と対消滅 γ 線 塩田 了 (京都大学)	13:54	U18a Ia 型超新星を用いた宇宙の非一様性探査 柳 哲文 (大阪市立大学)
10:42	U09a 銀河サブハローの構造と対消滅ダークマターのシグナル 吉田直紀 (名古屋大学)	14:06	U19a Finite source size effect and wave optics in gravitational lensing 山本一博 (広島大学)
10:54	U10a Local Voids as Origin of Large-angle CMB Anomaly (II) 井上開輝 (近畿大学)	14:18	U20a 銀河団の弱い重力レンズを用いた重力理論の検証 高橋龍一 (国立天文台)
11:06	U11a 重力レンズを用いた Rees-Sciama 効果の検出可能性 西澤 淳 (名古屋大学)	14:30	U21a 点粒子極限法を用いた運動方程式について 福元貴志 (東北大学)
		14:42	U22b スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (7) 高橋龍一 (国立天文台)

V. 地上観測機器

		9月19日(火) 午前・H会場	
14:42	U23b	スペース干渉計を用いた高周波帯域での宇宙背景重力波のマッピング 樽家 篤 (東京大学)	11:24 V01b 実験教育用PCのクラスタ化と電波天文への応用 野村勝治 (早稲田大学)
14:42	U24b	振動スカラー場宇宙モデルにおけるビッグバン元素合成 寶田佳央 (東京理科大学)	11:24 V02b JVOの開発研究(検索機能一般公開) 川野元 聡 (国立天文台)
14:54	U25b	Gravitating Q-balls 坂井伸之 (山形大学)	11:24 V03b 光赤外望遠鏡公開データアーカイブシステム SMOKA の新機能版の公開 吉野 彰 (国立天文台)
	U26c	Relation between Presheaf and Monoid Semantics of Quantum Logic 中山薫二 (龍谷大学)	11:36 V04b 野辺山電波ヘリオグラフのAvailability 関口英昭 (国立天文台)
14:54	U27b	宇宙膨張論の検証(そのVIIb ドップラー効果の慣用式は理論的に間違っている) 阿武靖彦 (一)	11:36 V05b 野辺山動スペクトル計の21cm(HI)用望遠鏡としての再生 II 佐藤奈穂子 (和歌山大学)
15:06	U28a	宇宙膨張論の検証(そのVIIa 0.4<zクエーサーの赤方偏移率と等級は相関が無い 其3) 阿武靖彦 (一)	11:36 V06b 2m 電波望遠鏡の受信機 Cryostatの開発とRadomeの通過損失の測定 海田正大 (大阪府立大学)
			11:48 V07b 2m 電波望遠鏡の主鏡設計製作 - ひずみ測定と有限要素解析結果の比較 東狐義秀 (大阪府立大学)
			11:48 V08b 2m電波望遠鏡の光学系開発—光学系設計比較 辻 企世子 (大阪府立大学)
			11:48 V09b 2m 電波望遠鏡における指向性の評価システムの開発 奥野宏文 (大阪府立大学)

9月19日(火) 午後・H会場	
14:00	V10a ALMA の建設 (5) 長谷川哲夫 (国立天文台)
14:12	V11a 全天スキャン型高精度小口径電波望遠鏡によるサブミリ波絶対強度較正法の基礎開発 (II): 専用望遠鏡の設計・製作 田村陽一 (東京大学)
14:24	V12a ALMA 光ローカル基準信号発生法の比較 山田真澄 (国立天文台)
14:36	V13a ALMA 光ローカル信号発生器 Backup plan: 高消光比 LN 変調器の開発状況報告 木内 等 (国立天文台)
14:48	V14a ALMA Band4 受信機開発の進捗状況 (VI) 浅山信一郎 (国立天文台)
15:00	V15a ALMA Band 8 受信機 OMT の開発 (II) 神蔵 護 (東京大学)
15:12	V16a バランスドミキサによる385-500GHz LO サイドバンドノイズの測定 芹澤靖隆 (東京大学 / 国立天文台)
15:24	V17a ALMA バンド 10 受信機開発の進捗状況 II 鶴澤佳徳 (国立天文台)
15:36	V18b ALMA Band10 受信機光学系の設計・製作 野原隆司 (大阪府立大学)
15:36	V19b ALMA Band10 受信機構造体の設計製作 鈴木和司 (名古屋大学)
15:36	V20b ALMA カートリッジ型受信機用試験冷却器の熱リンク改良試験 飯塚吉三 (国立天文台)
15:48	V21b 窒化アルミニウムバリア SIS 接合素子の開発 遠藤 光 (東京大学)
15:48	V22b ミリ波・サブミリ波観測に対するデジタル分光計の性能評価 石神真慈 (名古屋大学)
15:48	V23b 192MHz ナイキストレート複素サンプラーと信号処理 中尾伸一 (早稲田大学)
	V24c マルチフーリエ天体干渉計における2005 年度試験観測報告 大田 泉 (国立天文台)
16:00	V25a HEB ミキサ素子製作のための自動重ね描画の開発 新保 謙 (東京大学)
	V26c NbTiN 薄膜の超伝導転移温度の膜厚依存性 坂井南美 (東京大学)
16:12	V27b HEB ミキサ素子製作における Nb の表面酸化層の抑制 芝 祥一 (東京大学)
16:12	V28b 9 画素サブミリ波カメラ (SISCAM-9) の ASTE 搭載試験 守 裕子 (総合研究大学院大学)
16:12	V29b ASTE 搭載サブミリ波カメラ極低温電子回路の開発 III 永田洋久 (国立天文台)
16:24	V30b 超伝導ミキサ用冷却 HEMT 増幅器の開発 (II) 小嶋崇文 (大阪府立大学)
16:24	V31b 230GHz 帯導波管型サイドバンド分離受信機評価系の開発 利川達也 (大阪府立大学)
16:24	V32b SIS 接合を用いたノイズソースの開発 稲岡和也 (大阪府立大学)

9月20日(水) 午前・H会場		9月20日(水) 午後・H会場	
09:30	V33a Ashra 報告 10 : 光学閃光観測の現状 会田勇一 (東京大学)	11:18	V45b 先端技術センターにおける光学素子加工の取り組み 三ツ井健司 (国立天文台)
09:42	V34a Ashra 報告 11 : TeV ガンマ線観測の現状 安田雅弘 (東京工業大学)	11:18	V46b 近赤外線撮像・分光装置 ISLE の試験観測 II 柳澤顕史 (国立天文台)
09:54	V35a MITSuME 望遠鏡の開発 谷津陽一 (東京工業大学)	11:30	V47a ISLE の検出器駆動最適化 柳澤顕史 (国立天文台)
10:06	V36a MITSuME 望遠鏡データベースの開発 下川辺隆史 (東京工業大学)	9月20日(水) 午後・H会場	
10:18	V37b ガンマ線バースト可視光残光の即時追観測システム AROMA の開発 高橋一郎 (青山学院大学)	13:30	V48a 近赤外多天体分光器のための MEMS マイクロシャッターアレイ 高橋巧也 (東京大学)
10:18	V38b Miyazaki Wide-field Monitor (MWM) の現状 (3) 杉原 将 (宮崎大学)	13:42	V49a 近赤外用イメージョン回折格子の開発 池田優二 (フォトコーディング)
10:18	V39b 太陽マグネトグラフのためのファブリペローエタロンの評価 花岡庸一郎 (国立天文台)	13:54	V50a 近赤外高分散分光器「WINERED」の開発 : UTIRAC による VIRGO アレイ検出器の MUX 試験と性能評価 近藤荘平 (東京大学)
10:30	V40a ELT 構想 家 正則 (国立天文台)	14:06	V51b 近赤外高分散分光器「WINERED」の開発 : 詳細光学設計 安井千香子 (東京大学)
10:42	V41a TAO 望遠鏡建設のためのアタカマ調査 7 : Chajnantor 山頂に置けるサイト調査 宮田隆志 (東京大学)	14:06	V52b 木曾可視広視野カメラの開発 富田浩行 (東京大学)
10:54	V42a 京大新技術望遠鏡分割鏡制御システム用非接触精密位置センサーの開発 坂井道成 (京都大学)	14:06	V53b CCD 汎用読み出しコントローラの開発 征矢野隆夫 (東京大学)
11:06	V43a 広島大学 1.5m かなた望遠鏡のファーストライトと周辺の進捗 川端弘治 (広島大学)		V54c すばる望遠鏡 CCD 読み出し回路 Mfront2 の性能評価 中屋秀彦 (国立天文台)
11:18	V44b 広島大学かなた望遠鏡の据付および光学系調整作業の報告 新井 彰 (広島大学)		V55c 完全空乏型 CCD の開発 (7) 鎌田有紀子 (国立天文台)
		14:18	V56a 高速測光用 CCD カメラの開発とそれによるサイエンス 野上大作 (京都大学)

		9月21日(木) 午前・H会場
14:30	V57a VTOS for NAYUTA の開発と初期観測 圓谷文明 (兵庫県立大学 / 西はりま天文台)	09:30 V66a すばる望遠鏡高コントラスト撮像装置 HiCIAO の現状 鈴木竜二 (国立天文台)
14:42	V58b 広視野可視偏光撮像器 HOWPol の検出器システムの立ち上げ 永江 修 (広島大学)	09:42 V67a 系外惑星直接検出のための非対称ナール干渉と補償光学による超高コントラスト撮像法 西川 淳 (国立天文台)
14:42	V59b 線スペクトル偏光分光装置 LIPS の性能評価と現況 秋田谷 洋 (国立天文台)	09:54 V68a 液晶可変移相子を用いた共通光路差分撮像装置の開発 村上尚史 (国立天文台)
14:42	V60b 同時偏光撮像装置の開発 II 西田麻衣子 (神戸大学)	10:06 V69a Common-path achromatic interferometer-coronagraph: breadboard demonstrator images Tavrov, Alexander (国立天文台)
14:54	V61b 彗星用偏光撮像装置 PICO の開発 古荘玲子 (早稲田大学)	10:18 V70a ジャキノ開口を用いた偏光差分ナール干渉型ステラコロナグラフの実験 植村亮介 (北海道大学)
14:54	V62b 分光器 SGS の性能評価について 田辺健茲 (岡山理科大学)	10:30 V71b 矩形瞳ステラコロナグラフの開発・性能評価 藤田健太 (神戸大学)
14:54	V63b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: 589nm 高出力周波レーザーの開発 (5) 齊藤嘉彦 (国立天文台)	10:30 V72b 次期光赤外干渉計観測装置の開発 II. 大石奈緒子 (国立天文台)
15:06	V64a シェアリング干渉法を用いた波面センサーの開発 松川顕久 (法政大学)	10:30 V73b 光赤外干渉計におけるファイバ結合効率の最適化について 渡辺 翔 (法政大学)
	V65c すばるレーザーガイド補償光学系プロジェクト: 光ファイバーによるレーザー伝送系の開発 伊藤 周 (東京大学)	10:42 V74a レーザー干渉計を用いた超高周波重力波検出器の開発 阿久津智忠 (東京大学)
		10:54 V75a TAMA300 の現状 (18) 高橋竜太郎 (国立天文台)

W. 飛翔体観測機器

9月21日(木) 午後・H会場	9月19日(火) 午前・E会場
13:30 V76a NANTEN2 望遠鏡：サブミリ波ファーストウエーブ 大西利和 (名古屋大学)	10:00 W01a VSOP-2 計画のスタートにむけて 平林 久 (宇宙航空研究開発機構)
13:42 V77a NANTEN2 制御系の開発と性能評価 笹子宏史 (名古屋大学)	10:12 W02a VSOP-2 の科学目標：最低到達目標とマージン 亀野誠二 (鹿児島大学)
13:54 V78a クエーサーペア位相補償観測によるVERA の精度検証 I 中川重紀治 (鹿児島大学)	10:24 W03b VSOP-2/ASTRO-G 衛星システムの検討 村田泰宏 (宇宙航空研究開発機構)
14:06 V79a クエーサーペア位相補償観測によるVERA の精度検証 II 小山友明 (国立天文台)	10:24 W04b VSOP-2 観測信号系 (IF/ リンク) 河野裕介 (国立天文台)
14:18 V80a 汎用計算機を用いた広帯域ソフトウェア電波分光計の開発 萩原健三郎 (筑波大学)	10:24 W05b 電波天文衛星 Astro-G/VSOP-2 冷却受信系 (1) 春日 隆 (法政大学)
14:30 V81a 三鷹 FX 相関器互換のソフトウェア相関処理システムの構築 木村守孝 (情報通信研究機構)	10:36 W06b VSOP-2 搭載 8GHz 帯直線偏波分離器 (OMT) の設計・製作 城山典久 (大阪府立大学)
14:42 V82a 日韓共同東アジア相関器の開発 川口則幸 (国立天文台)	10:36 W07b VSOP-2 搭載用 8GHz 帯常温低雑音 HEMT アンプの開発 黒住聡丈 (大阪府立大学)
14:54 V83a 時間領域天体信号の統計的性質と最適処理方式 大師堂経明 (早稲田大学)	10:36 W08b 衛星搭載用多モードホーンの検討 氏原秀樹 (国立天文台)
15:06 V84a +37°± 5 Sky Survey at Nasu Interferometry 岳藤一宏 (早稲田大学)	10:48 W09a VSOP-2/ASTRO-G 衛星用大型展開アンテナの開発 村田泰宏 (宇宙航空研究開発機構)
	11:00 W10b VSOP-2 におけるオフセットカセグレン系の光学設計 興梠 淳 (大阪府立大学)
	11:00 W11b VSOP-2 における姿勢制御の検討 望月奈々子 (宇宙航空研究開発機構)
	11:00 W12b VSOP-2 の軌道決定についての検討 吉川 真 (宇宙航空研究開発機構)
	11:12 W13a JASMINE (赤外線位置天文観測) 計画の新しいバージョンについて 郷田直輝 (国立天文台)

11:24	W14b JASMINE 観測手法 矢野太平 (国立天文台)	15:12	W26a 「あかり」衛星搭載近中間赤外線カメラ IRC の現状報告 和田武彦 (宇宙航空研究開発機構)
11:24	W15b JASMINE におけるエラーバジェットの評価 山田良透 (京都大学)	15:24	W27b 「あかり」搭載 IRC による撮像観測一軌道上性能とデータ整約について 板 由房 (宇宙航空研究開発機構)
11:24	W16b Nano-JASMINE (超小型衛星による高精度位置天文観測) 計画の進捗 菅沼正洋 (国立天文台)	15:24	W28b 「あかり」搭載 IRC による分光観測の初期キャリブレーション 大山陽一 (宇宙航空研究開発機構)
11:36	W17a JASMINE 計画のためのレーザー干渉計型高精度角度変動モニターの研究開発 3 丹羽佳人 (京都大学 / 国立天文台)	15:24	W29b 「あかり」搭載 IRC による中間赤外線全天サーベイ観測 石原大助 (東京大学)
11:48	W18a 月周回編隊飛行と月裏側面での 10MHz 以下の電波天文観測の比較 河野宣之 (国立天文台)	15:36	W30b 「あかり」搭載 IRC による広がった天体の分光観測 左近 樹 (東京大学)
9月19日(火) 午後・E会場		15:36	W31b C/C 複合材料による軽量鏡開発(4) 小原直樹 (東京大学)
14:00	W19a 赤外線天文衛星「あかり」 村上 浩 (宇宙航空研究開発機構)	15:36	W32b Development of laboratory experiment of Prolate Apodized Lyot Coronagraph (PALC) 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)
14:12	W20a 「あかり」冷却系の軌道上性能評価 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)	15:48	W33a SPICA コロナグラフの開発：進捗、とくに可視検証実験の成果について 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)
14:24	W21a 軌道上での「あかり」望遠鏡 - 赤外線カメラ間光学調整結果 金 宇征 (宇宙航空研究開発機構)	16:00	W34a PIAA/ バイナリマスク・ハイブリッド解 田中深一郎 (東京大学)
14:36	W22a 「あかり」搭載 遠赤外線観測装置 FIS の観測性能 土井靖生 (東京大学)	16:12	W35a 次世代遠赤外線ゲルマニウム検出器の開発 鈴木仁研 (東京大学)
14:48	W23a あかり衛星搭載 FIS の軌道上における結像性能評価 齋藤年伸 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	16:24	W36a 遠赤外 / サブミリ波 GaAs:Se, GaAs:Te 光電導素子の開発 渡辺健太郎 (宇宙航空研究開発機構)
15:00	W24a 「あかり」搭載遠赤外線観測装置 FIS 分光モードの観測性能 その 1 村上紀子 (名古屋大学)		W37c ピエゾ素子民生品の宇宙環境における動作耐久試験最終報告 宮下正邦 (国立天文台)
	W25c 「あかり」搭載遠赤外線観測装置 FIS 分光モードの観測性能 その 2 岡田陽子 (宇宙航空研究開発機構)		

9月20日(水) 午前・E会場	
09:30	W38a X線天文衛星「すざく」の現状 堂谷忠靖(宇宙航空研究開発機構)
	W39c 「すざく」観測データの一般配布体制 尾崎正伸(宇宙航空研究開発機構)
09:42	W40b 超新星残骸 1E0102.2-7219 の観測による「すざく」搭載 XIS の性能評価 武井 大(立教大学)
09:42	W41b すざく衛星搭載 X線 CCD(XIS) のゲイン及び電荷転送非効率の較正状況 中嶋 大(京都大学)
09:42	W42b すざく衛星搭載 XIS の軟 X線検出効率の経年変化 林田 清(大阪大学)
09:54	W43b すざく衛星搭載 XIS の電荷トレイル及びパッドコラムの経年変化 内野雅宏(大阪大学)
09:54	W44b 「すざく」衛星搭載 X線 CCD カメラ XIS のバックグラウンドについて 田和憲明(大阪大学)
09:54	W45b 地球大気蛍光 X線を利用した「すざく」衛星搭載 XIS のコンタミ調査 穴吹直久(大阪大学)
10:06	W46b X-mas 計画のための実験用望遠鏡の撮像実験 大久保洋輔(立教大学)
10:06	W47b X -mas 計画における X線発生装置の評価 荻田喬行(立教大学)
10:06	W48b 大面積 X線望遠鏡用非球面基板の開発 IV 岡本和光(愛媛大学)
10:18	W49a NeXT 衛星搭載 X線 CCD カメラ SXI システム開発の現状 鶴 剛(京都大学)
10:30	W50a NeXT 衛星搭載用 P チャンネル CCD の開発 小澤秀樹(大阪大学)
10:42	W51a アバランシェフォトダイオードと BGO を用いたアクティブシールドの開発 竹本健太(広島大学)
10:54	W52a 気球搭載用硬 X線偏光度検出器 PHENEX の上空での性能 郡司修一(山形大学)
11:06	W53b PHENEX 硬 X線偏光観測実験; データ収集装置の上空での性能 森本真史(大阪大学)
11:06	W54b 気球搭載用硬 X線偏光度検出器 PHENEX のシステムと運用 小浜光洋(理化学研究所)
11:06	W55b 多層膜 CCD による Photon Factory での偏光測定実験 斉藤恒介(立教大学)
11:18	W56a 全天 X線監視装置 MAXI の現状と地上ソフトウェア開発 根来 均(日本大学)
11:30	W57a 全天 X線監視装置 MAXI のコリメータ特性評価 田中識史(東京工業大学)
11:42	W58b 2 結晶分光器を用いた全天 X線監視装置 MAXI/GSC の封入ガス、Xe-L 殻吸収端の不連続性の追究 II 伊藤悠太(青山学院大学)
11:42	W59b DIOS 衛星搭載用 4 回反射型 X線望遠鏡 FXT デモンストレーション・モデル 田原 譲(名古屋大学)

9月20日(水) 午後・E会場	9月21日(木) 午前・E会場
13:30 W60a 気球観測へ向けた宇宙 X 線偏光計の改良と性能評価 早藤麻美 (理化学研究所 / 東京理科大学)	09:30 W69a X線天文衛星「すざく」搭載 X 線望遠鏡「XRT」 前田良知 (宇宙航空研究開発機構)
13:42 W61a ガス飛跡検出器を用いた γ 線コンプトンカメラの気球フライトモデルの開発 西村広展 (京都大学)	09:42 W70a 「すざく」搭載 X 線望遠鏡の応答関数の現状 岡田俊策 (宇宙航空研究開発機構)
13:54 W62a Cute-1.7 搭載 APD モジュールの放射線耐性と性能評価 津布久佳宏 (東京工業大学)	09:54 W71a かに星雲を用いた「すざく」XRT/XIS の有効面積キャリブレーション 鈴木健介 (宇宙航空研究開発機構)
14:06 W63a Si ドリフトチェンバーを用いた次世代ガンマ線バースト検出器の開発 (I) 吉田光太郎 (青山学院大学)	10:06 W72a 「すざく」XRT + XIS のモンテカルロシミュレーションを用いた ARF レスポンスの計算手法 石崎欣尚 (首都大学東京)
14:18 W64a 宇宙ガンマ線衛星 GLAST の最終組み上げ試験と現状 水野恒史 (広島大学)	10:18 W73a 「すざく」衛星搭載 XIS の可視光遮断フィルターのアニーリング試験 森 英之 (京都大学)
14:30 W65a 硬 X 線、ガンマ線観測に向けた CdTe 半導体撮像検出器の開発 石川真之介 (宇宙航空研究開発機構)	10:30 W74a 「すざく」衛星搭載硬 X 線検出器 (HXD) 主検出部の現状 (II) 国分紀秀 (東京大学)
14:42 W66a TES 型 X 線マイクロカロリメータ用の吸収体の開発 向井一馬 (宇宙航空研究開発機構)	10:42 W75a 「すざく」衛星搭載硬 X 線検出器 (HXD/PIN) の軌道上バックグラウンドの系統的評価 牛尾雅佳 (宇宙航空研究開発機構)
14:54 W67a 超伝導磁気シールドを設けた TES 型マイクロカロリメータの性能評価 倉林 元 (首都大学東京)	10:54 W76a 「すざく」搭載硬 X 線検出器 GSO シンチレータのゲイン履歴補正およびバックグラウンドモデル化の現状 山崎智紀 (広島大学)
15:06 W68a JEM-EUSO 宇宙線望遠鏡による極限エネルギー宇宙研究 戎崎俊一 (理化学研究所)	

X. 銀河形成

9月21日(木) 午後・E会場	9月20日(水) 午後・G会場
13:30 W77a 硬X線撮像気球実験 SUMIT とその観測計画 國枝秀世 (名古屋大学)	13:30 X01a 高赤方偏移 GRB におけるガンマ線吸収で探る銀河間紫外線放射の進化と宇宙再電離 井上 進 (国立天文台)
13:42 W78a 気球搭載硬X線撮像観測実験 SUMIT: 大型ゴンドラの開発・姿勢制御 上野大輔 (名古屋大学)	13:42 X02a 宇宙初期の銀河間空間中に存在するダストの宇宙背景放射に及ぼす効果 大河原好則 (北海道大学)
13:54 W79a NeXT 搭載 X線望遠鏡の開発 小賀坂康志 (名古屋大学)	13:54 X03b GRB050904 および SDSS クェーサーによる高赤方偏移紫外線背景放射の制限 廣居久美子 (筑波大学)
14:06 W80a NeXT 衛星に向けた Pt/C 多層膜反射鏡の開発 中村良子 (宇宙航空研究開発機構 / 東京工業大学)	13:54 X04b High-z Ly α Emitters with a Large Equivalent Width 長尾 透 (国立天文台)
14:18 W81a 硬X線望遠鏡の高精度光学調整 深谷美博 (名古屋大学)	13:54 X05b MOIRCS GT GOODS-N Ultra Deep Survey: 1. 観測と初期成果 田中 壱 (国立天文台)
14:30 W82a 軟ガンマ線望遠鏡用多層膜反射鏡の基礎開発 岩原知永 (名古屋大学)	14:06 X06a Lyman α Emitters とは何か?: 階層的構造形成における理論モデルの構築 小林正和 (京都大学)
14:42 W83a 気球搭載硬X線偏光計 PoGOLite の開発 (I): 検出器開発 有元 誠 (東京工業大学)	14:18 X07a ライマンアルファエミッターから楕円銀河へ 森 正夫 (専修大学)
14:54 W84a 気球搭載硬X線偏光計 PoGOLite の開発 (II): エレクトロニクスの開発 田中琢也 (広島大学)	14:30 X08a z=5 の強輻射場における LBG/LAE の棲み分け 柏川伸成 (国立天文台)
15:06 W85a 気球搭載硬X線偏光計 PoGOLite の開発 (III): 陽子ビーム照射試験 金井義和 (東京工業大学)	14:42 X09a SXDF 領域における z > 3 LAEs(Lyman α emitters) の光度関数 室園浩司 (東京大学)
	14:54 X10a SSA22 z=3.1 大規模構造の LAE 数密度超過 山内良亮 (東北大学)
	15:06 X11a SSA22 z=3.1 Ly α 吸収天体の大規模構造 中村有希 (東北大学)

15:18	X12a 野辺山ミリ波干渉計を用いた高赤方偏移クエーサー BR1202-0725 の CO(7-6) と Cl($^3P_2-^3P_1$) の 2 輝線同時観測 鮫島昌弘 (東京大学)	11:06	X22b 準解析的銀河形成モデルによる楕円銀河の Line Indices の直接計算 長島雅裕 (長崎大学)
9月21日(木) 午前・G会場		11:06	X23b 高性能重力相互作用計算ライブラリ Phantom-GRAPe : II. TreePM 法 用カットオフカへの対応 似鳥啓吾 (東京大学)
09:30	X13a 高赤方偏移 MgII 吸収線系の個数密度 南 篤志 (東京大学)	11:18	X24a マゼラニックブリッジにおける前主系列星の発見 西山正吾 (国立天文台)
09:42	X14a Subaru/XMM-Newton Deep Field-South における $z \sim 3$ の Lyman-break 銀河のクラスタリングの性質 吉田真希子 (東京大学)	9月21日(木) 午後・G会場	
09:54	X15a BzK 銀河のクラスタリングから探る $z \sim 2$ の銀河の形成と進化 林 将央 (東京大学)	13:30	X25a 宇宙シミュレータ FIRST による第一世代天体シミュレーション 梅村雅之 (筑波大学)
10:06	X16a 近赤外撮像観測による $z \sim 2.5$ 電波銀河領域の原始銀河団探査 鍛冶澤 賢 (国立天文台)	13:42	X26a FIRST による銀河形成シミュレーション: 並列 P ³ M-SPH 計算 諏訪多聞 (筑波大学)
10:18	X17a すばる MOIRCS による広視野近赤外撮像で探る原始銀河団の姿 児玉忠恭 (国立天文台)	13:54	X27a FIRST による 6 次元自己重力無衝突ボルツマン方程式の数値計算 佐藤潤一 (筑波大学)
10:30	X18a CL0016 銀河団 ($z=0.55$) の分光観測 田中賢幸 (東京大学)	14:06	X28a FIRST を用いた球状星団の力学進化の計算 長谷川賢二 (筑波大学)
10:42	X19a CL 0939+4713 銀河団 ($z=0.41$) 周辺の大規模構造 仲田史明 (国立天文台)	14:18	X29a 天体起源説に基づいた新しい銀河磁場構造形成モデル 加藤成晃 (筑波大学)
10:54	X20a RXJ1716 銀河団 ($z=0.81$) の測光観測 小山佑世 (東京大学)	14:30	X30a 銀河形成シミュレーションにおける解像度依存性 中里直人 (理化学研究所)
11:06	X21b RDCSJ1252 銀河団 ($z=1.24$) の多色測光観測 田中賢幸 (東京大学)	14:42	X31a 天の川創成プロジェクト IV 番号機の開発と性能報告 斎藤貴之 (国立天文台)
		14:54	X32a Satellite Systems around Disc Galaxies in Hydrodynamic Simulations 岡本 崇 (国立天文台)

Y. 天文教育・その他

9月19日(火) 午前・H会場		
10:00	Y01b 誤って理解されている「双子のパラドックス」・・・相対性理論はもっと簡潔に説明できる 田中洗人(一)	11:12 Y12b 夏殷周漢の開始についての一考察 － 6000年間の惑星集合検索 作花一志(京都情報大学院大学)
10:00	Y02b ケプラーの法則は次元解析で説明できる・・・振り子の等時性はケプラー法則の単振動版 田中洗人(一)	11:12 Y13b 日本の天文史跡目録と史跡保護 松尾 厚(山口県立博物館)
	Y03c なゆた望遠鏡によるパルスレーザー検出を目的とする OSETI 鳴沢真也(西はりま天文台)	
	Y04c NHAO @サイトプログラムにおける超新星捜索観測 内藤博之(西はりま天文台)	
10:12	Y05a 全国の科学館と連携した天体現象のライブ配信「エクリプス・カフェ」の評価 縣 秀彦(国立天文台)	
10:24	Y06a 公開天文台に関するアンケート調査の中間報告 川端哲也(美星天文台)	
10:36	Y07a アストロバイオロジー教育のすすめ I. 小学生に対する教育効果 村山真紀(立教大学)	
10:48	Y08a SETI を目的としたM型星・赤外超過星・META 領域の電波・光学観測－その2 藤下光身(九州東海大学)	
11:00	Y09b 飛騨天文台 DST 水平分光器を使った太陽スペクトルポスターの制作 尾久土正己(和歌山大学)	
11:00	Y10b デジタルカメラによる太陽黒点観測システムの開発 松本 孝(市川市役所)	
11:00	Y11b 大学院生による天文学講座「天塾」～3年目を迎えた学生自主企画～ 花山秀和(東京大学)	

2006年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	百瀬宗武	(茨城大学)
委員	河野孝太郎	(東京大学)
	清水敏文	(宇宙航空研究開発機構)
	鈴木知治	(東京大学)
	田村隆幸	(宇宙航空研究開発機構)
	中本泰史	(筑波大学)
	根來均	(日本大学)
	本原顕太郎	(東京大学)
	山村一誠	(宇宙航空研究開発機構)
	梅本智文	(国立天文台) 保育室担当

年会開催地理事

浅田正 (九州国際大学)